



取扱説明書



運転する前に必ずこの取扱説明書
をお読みください。

FORZA X

FORZA X・オーディオパッケージ

FORZA Z

FORZA Z・オーディオパッケージ

FORZA Z ABS FORZA Z ABS・オーディオパッケージ

Honda車をお買いあげいただきありがとうございます。

安全に留意し快適なバイクライフをお楽しみください。

お車の引き渡しについて

★お買いあげになりましたら、Honda販売店にてこの取扱説明書と共に「メンテナンスノート」を受取り、下記の説明を受けてください。

- お車の正しい取扱い方
- 保証内容と保証期間
- 点検・整備について
- 車両受領書・保証書受領書の記入・捺印

排出ガス規制について

★この車は排出ガス規制適合車です。

FORZA X (JBK-MF10 型):
FORZA Z (JBK-MF10 型):
FORZA Z ABS (JBK-MF10 型):
FORZA X-Audio (JBK-MF10 型):
FORZA Z-Audio (JBK-MF10 型):
FORZA Z ABS-Audio (JBK-MF10 型):

平成18年排出ガス規制適合車

運転免許について

★この車を一般公道で運転するには、運転免許が必要です。ご自身の免許で運転できるか、確認してください。

この車の排気量: 248 cm³ (cc)

排気量により必要な免許が異なります。

★この車の乗車定員は、運転者を含め2人です。

なお、運転免許を取得後1年未満の方は、法令により2人乗りはできません。

お車について

★連動ブレーキシステム (20ページ参照) および

Honda スマート カード キーシステム (22ページ参照)

＜FORZA Z, FORZA Z ABS, FORZA Z-Audio,
FORZA Z ABS-Audioに装備＞

★Honda S マチック (41ページ参照)

＜FORZA Z ABS, FORZA Z ABS-Audioに装備＞

★アンチロックブレーキシステム (ABS)
(21ページ参照)

取扱説明書について

安全に関する表示について

★この取扱説明書には、お車の正しい取扱いかた、安全な運転のしかた、簡単な点検の方法などについて説明してあります。

「安全に関する表示」「安全運転のために」「メンテナンスを安全に行うために」は重要ですので、しっかりお読みください。

★車の取扱いを十分にご存じの方も、この車独自の装備や取扱いがありますので、運転する前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

また、メンテナンスノートもぜひお読みください。

★車を譲られる場合、次の方にこの取扱説明書およびメンテナンスノートをお渡しください。

★車の仕様、その他の変更により、この本の内容と実車が一致しない場合があります。ご了承ください。

★この取扱説明書は、FORZA Z ABS を中心に説明してあります。

★Honda販売店で取付けられたHondaアクセサリなどの取扱いについては、その商品に付属の取扱説明書をお読みください。

★安全に関する表示

「運転者や他の方が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。



指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの



指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの



指示に従わないと、傷害を受ける可能性があるもの

★その他の表示



お車のために守っていただきたいこと



知っておいていただきたいこと

知っておくと便利なこと

目 次

安全運転のために	6
触媒装置について	14
各部の名称	15
連動ブレーキシステム	20
アンチロックブレーキシステム(ABS)	21
Honda スマート カード キーシステム	22
Honda スマート カード キーシステム	22
Honda スマート カード キーシステムの	
アンテナ位置について	23
Honda スマート カード キー	24
Honda スマート カード キーシステムの	
作動範囲について	28
Honda スマート カード キー表示灯	30
メインスイッチノブの解錠	32
メインスイッチノブの施錠	33
Honda スマート カード キーシステムが	
作動しないとき	36
Honda スマート カード キー表示灯が	
点滅したとき	38
Honda スマート カード キーの電池交換	39
Honda S マチック	41
Honda S マチック	41

各モードの切換え	42
表示灯	44
オートマチックモードと 7 速オートシフト	
モードの切換え	45
7 速オートシフトモードと 7 速マニュアル	
モードの切換え	47
オートマチックモード時の D モードと	
S モードの切換え	49
7 速マニュアルモード時のシフト操作	50
Honda S マチックが故障したとき	52
メータの見かた、使いかた	53
計器類	53
速度計(スピードメータ)	53
モードボタン	53
リセットボタン	53
エンジン回転計(タコメータ)	54
水温計	55
燃料計	55
ディスプレイ	56
積算距離計(オドメータ)	57
区間距離計(トリップメータ)	57
燃費計	59

時計	60
警告灯・表示灯	62
油圧警告灯	62
パーキングブレーキ警告灯	63
PGM-FI警告灯	63
アンチロックブレーキシステム	
(ABS)警告灯	64
エンジンオイル交換時期表示	65
方向指示器表示灯	66
前照灯上向き表示灯	
(ハイビームパイロットランプ)	66
スイッチの使いかた	67
メインスイッチノブ	67
前照灯上下切換えスイッチ	
(ヘッドライト上下切換えスイッチ)	69
パッシングライトスイッチ	69
エンジンストップスイッチ	70
スタータスイッチ	71
方向指示器スイッチ	72
ホーンスイッチ	72
非常駐車灯スイッチ(ハザードスイッチ)	73

装備の使いかた	75
ハンドルロック	75
シート	76
ヘルメットホルダ	79
パーキングブレーキ	80
スピーカーグリル	81
左コンソールボックス	81
右コンソールボックス	83
ラゲージボックス	84
ラゲージランプ	86
携帯工具入れ	87
書類入れ	88
メカニカルキー	89
リヤクッションの調整	91
オーディオシステム	92
燃料の補給	114

目 次

正しい運転操作	116
エンジンのかけかた	116
スタートするとき	121
正しい走りかた	123
Honda S マチックでの走行	124
ブレーキの使いかた	127
止まりかた	129
メンテナンスを安全に行うために	132
日常点検、定期点検、簡単なメンテナンス	135
日常点検	137
定期点検	140
簡単なメンテナンス	141
ブレーキ	142
右ブレーキレバー	142
左ブレーキレバー	144
パーキングブレーキ	146
タイヤ	147
空気圧の点検	147
亀裂と損傷の点検	148
異状な摩耗の点検	149
溝の深さの点検	149
交換タイヤの選択について	150

エンジンオイル	151
オイル量の点検	151
オイルの補給	152
冷却水	156
冷却水量の点検	156
冷却水の補給	157
バッテリー	159
バッテリーターミナル部の清掃	160
バッテリーの取付け、取外し	161
ヒューズ	163
ヒューズの点検、交換	163
ファイナルギヤオイル	165
オイル量の点検	165
オイル漏れの点検	167
エアクリーナ	168
エアクリーナエレメントの交換	168
クリップの取外し、取付けかた	172
ケーブル・ワイヤ類	173
ラバーブーツの点検	173
ケーブル・ワイヤ類の点検	173
ブリーザドレン	174
ブリーザドレンの清掃	174

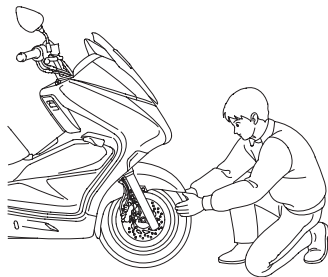
車のお手入れ	175
メーターバイザーの取扱い	178
アルミ部品の取扱い	178
シートの取扱い	178
つや消し塗装の取扱い	179
エキゾーストパイプの取扱い	179
保管のしかた	180
地球環境の保護について	181
お車および部品等の廃棄をするとき	181
色物部品をご注文のとき	184
マフラの純正マークについて	185
フレーム号機	186
緊急時のメインスイッチノブの解錠	187
緊急時のメインスイッチノブの解錠	187
オーバーヒートしたとき	190
エンジンが始動しないとき	191
主要諸元	192
サービスデータ	196

安全運転のために

ここであげた項目は、日常この車を取扱う上で必要な基本的なものです。これらの項目をいつもお守りいただき、安全運転を心がけてください。

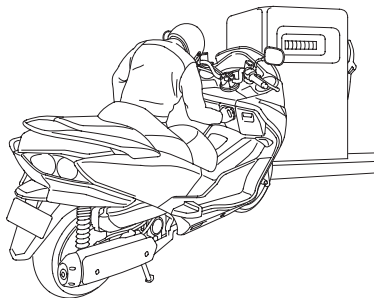
運転する前に

- 日常点検を行ってください。
車は常に清潔に手入れをし、定められた点検整備を必ず行いましょう。
日常点検は、137 ページ参照。

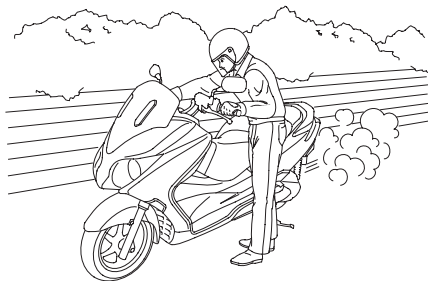


- 定期点検を実施してください。
定期点検は、140 ページ参照。

- ガソリンの補給は、必ずエンジンを止め、火気厳禁で行ってください。



- 排気ガスには、一酸化炭素などの有害な成分が含まれています。エンジンは、風通しの良い場所でかけてください。



安全運転のために

服装

- 運転者と同乗者は、必ずヘルメットを着用してください。これは、法令でも定められています。ヘルメットの着用は、あごひもを確実に締めるなど、正しく行ってください。
ヘルメットは二輪車でPSC、SGマークかJISマークのあるものをお勧めします。頭にしっかり合って圧迫感のないものをお選びください。
- 保護具や保護性の高い服を着用してください。
 - ・フェイスシールドまたはゴーグルの使用
 - ・くるぶしまで覆う靴の着用
 - ・摩擦に強い皮製の手袋の着用
 - ・長ズボンと長袖のジャケットの着用
 - ー明るく目立つ色の動きやすい服装で体の露出の少ないものを着用してください。
 - ーすその広いズボンや袖口の広いジャケットは、ブレーキ操作などの運転動作のじゃまになり思わぬ事故の原因にもなりますので避けてください。

警告

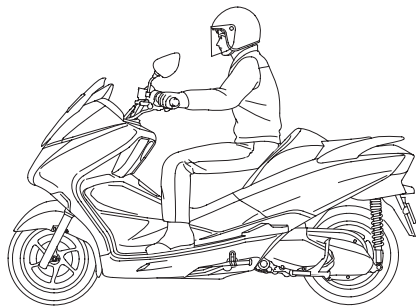
ヘルメットを正しく着用していないと、万一の事故の際、死亡または重大な傷害に至る可能性が高くなります。

運転者と同乗者は乗車時、必ずヘルメット、保護具および保護性の高い服を着用してください。

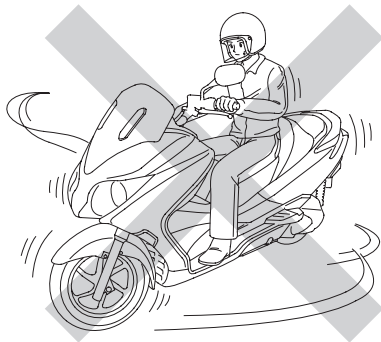


乗りかた

- 走行中は、運転者は両手でハンドルを握り、両足をステップに置いてください。
- 同乗者は、両足を後席用ステップに置き、両手でからだを保持してください。運転者は、同乗者の乗車姿勢を確認してください。



- 急激なハンドル操作や、片手運転は避けてください。
これは、すべての二輪車の安全運転の原則です。



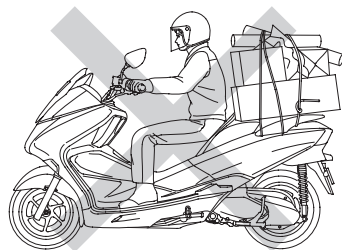
安全運転のために

荷物

- 荷物を積んだときは、積まないときに比べて操縦安定性が変わります。積載するときは、“積み過ぎない”、“荷物を固定する”など十分注意し、安全に走行してください。
- ハンドルの近くに物を置くと、ハンドル操作ができなくなる場合があります。物を置かないでください。
- ヘッドライトレンズの前を荷物等でさえぎらないでください。過熱によりレンズが溶けたり、荷物等まで損傷する場合があります。

- レンガや鉄片等、固くて重いものをラゲージボックスに入れたまま走行しないでください。積載重量以内でもラゲージボックス本体が損傷する場合があります。

ラゲージボックスへの最大荷物重さ； **10.0 kg**
左コンソールボックスと右コンソールボックスへの合計の最大荷物重さ； **1.5 kg**



改造

- 車の構造や機能に係る改造は、操縦性を悪化させたり、排気音を大きくしたり、ひいては車の寿命を縮めることがあります。
不正改造は法律に触れることは勿論、他の迷惑行為となります。
このような改造に起因する場合は、保証が受けられません。
- この車は平成18年排出ガス規制適合車です。
排出ガス濃度を劣化させるような不正改造は行わないでください。
また、マフラには排出ガスを浄化する触媒装置が内蔵されています。
他のマフラをこの車に取付けると、排出ガス規制に適合しなくなる可能性があります。
マフラを交換する場合は、Honda販売店にご相談ください。

安全運転のために

駐車

駐車するときは

盗難防止のため、車から離れるときは必ずハンドルロックをかけ、Honda スマート カード キーを携帯した状態で離れてください。

このとき必ずすべての方向指示器が2回点滅したことを確認してください。

- 水平でしっかりした地面の場所に駐車してください。
- 交通のじゃまにならない安全な場所を選んで駐車しましょう。
- やむをえず傾斜地、砂利を敷いた所、でこぼこな所、地面の軟らかい所等に駐車せざるを得ないときは、車の転倒・動き出しのないよう、安全処置に十分留意してください。

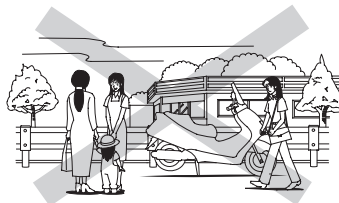
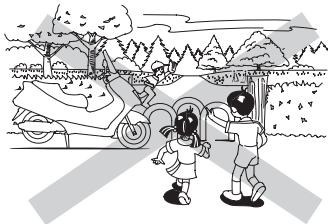
サイドスタンドでの駐車について

車は水平な場所にハンドルを左にきって駐車しましょう。

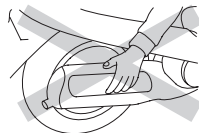
ハンドルを右にきった状態での駐車は、車が不安定になり、転倒するおそれがあります。

パーキングブレーキをかけて駐車しましょう。

- マフラなどが熱くなっています。他の方が触れることのない場所に駐車しましょう。



- エンジン回転中および停止後しばらくの間はマフラ、エンジンなどに触れないでください。



注意

マフラ、エンジンなどは、エンジン回転中および停止後しばらくの間は熱くなっています。このとき、マフラ、エンジンなどに触れるとヤケドを負う可能性があります。

- エンジン回転中および停止後しばらくの間はマフラ、エンジンなどに触れないでください。
- 他の方がマフラ、エンジンなどに触れることのない場所に駐車してください。

触媒装置について

触媒装置の働き

この車のマフラには、触媒装置が内蔵されています。

触媒装置の働きにより、排出ガスに含まれる一酸化炭素(CO)、炭化水素(HC)、窒素酸化物(NOx)の3つの有害物質の排出量を低減します。

可燃物には注意を

触媒装置は高温になります。枯れ草や紙、油、木材など燃えやすいものがあるところには駐停車しないでください。

触媒装置を大切に

不適切な取扱いをすると触媒温度が異常に高くなり焼損するおそれがありますので、次のような取扱いはしないでください。

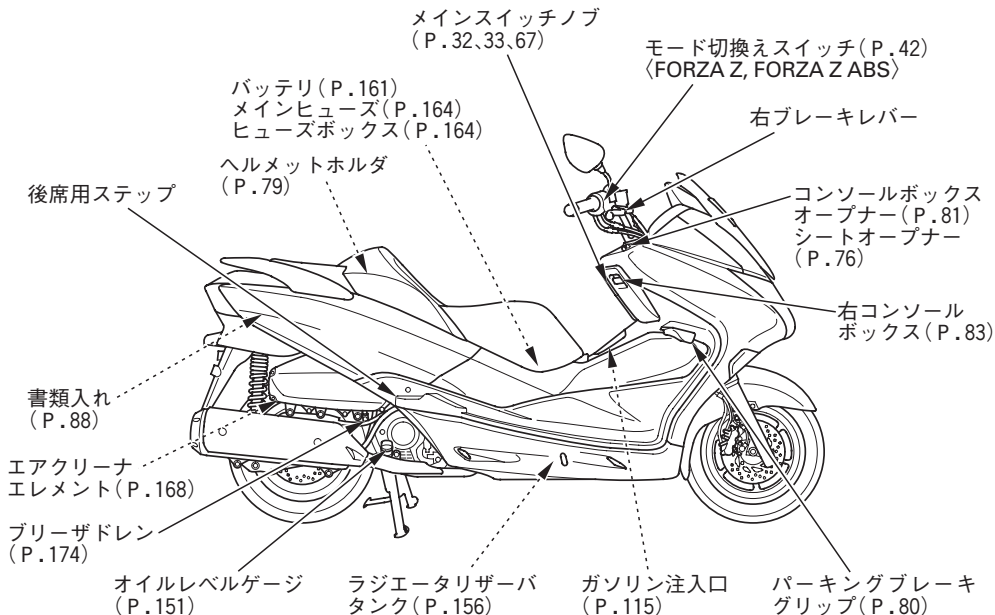
《不適切な取扱いの例》

- 走行中にメインスイッチのキーを操作すること。
- エンジンを止めるとき、空ぶかし直後にメインスイッチのキーを切ること。

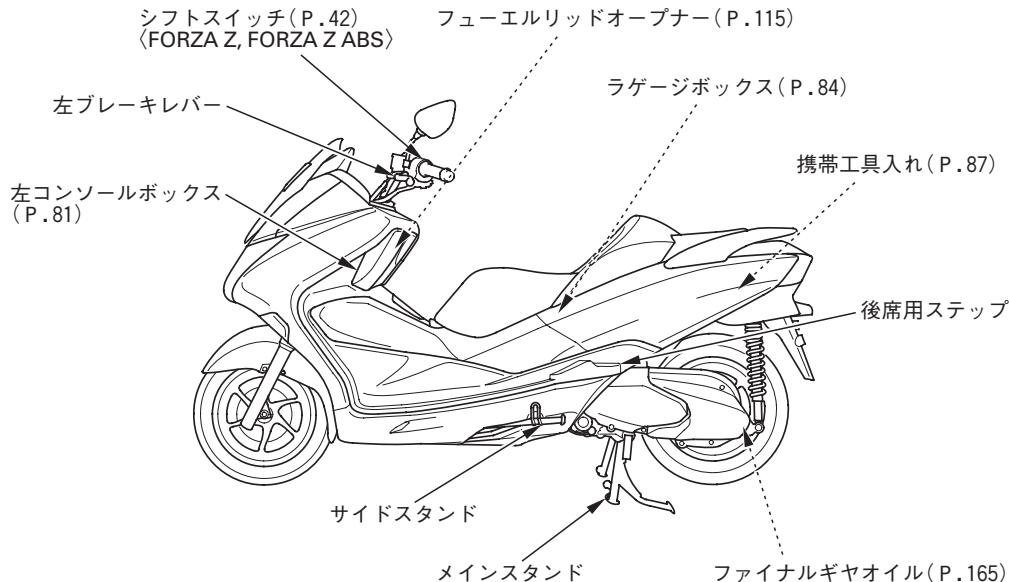
触媒装置が損傷したまま使用すると排出ガス濃度を劣化させるだけではなく、この車本来の性能を発揮できなくなりますので次のことをお守りください。

- 燃料は必ず無鉛ガソリンをご使用ください。
- 定められた点検整備を実施してください。
- 点火系、充電系、燃料系の不調は触媒装置に大きく影響を与えますので、エンジン不調を感じたときはただちにHonda販売店で点検を受けてください。

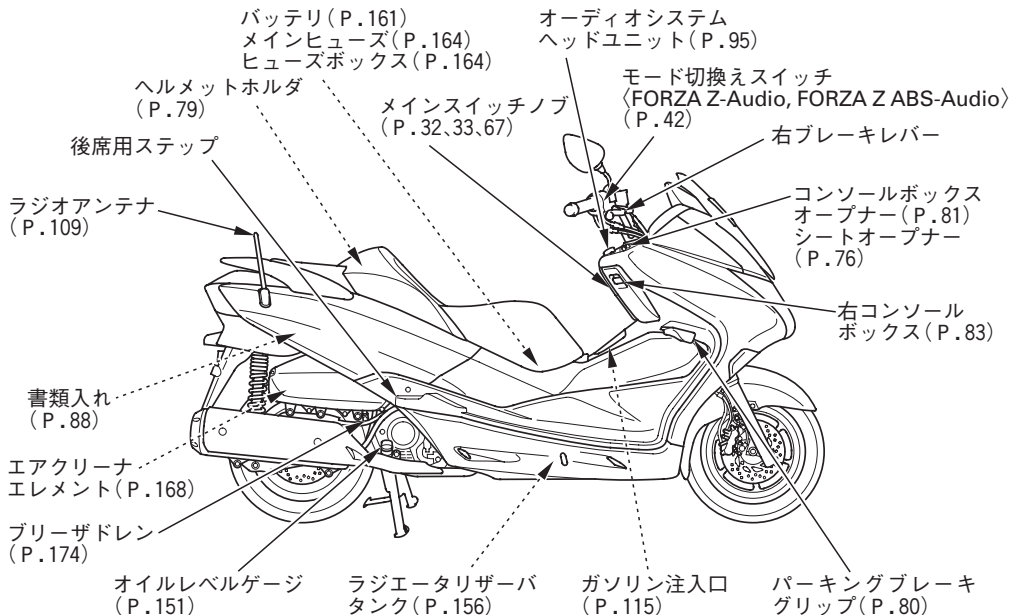
各部の名称《FORZA X, FORZA Z, FORZA Z ABS》



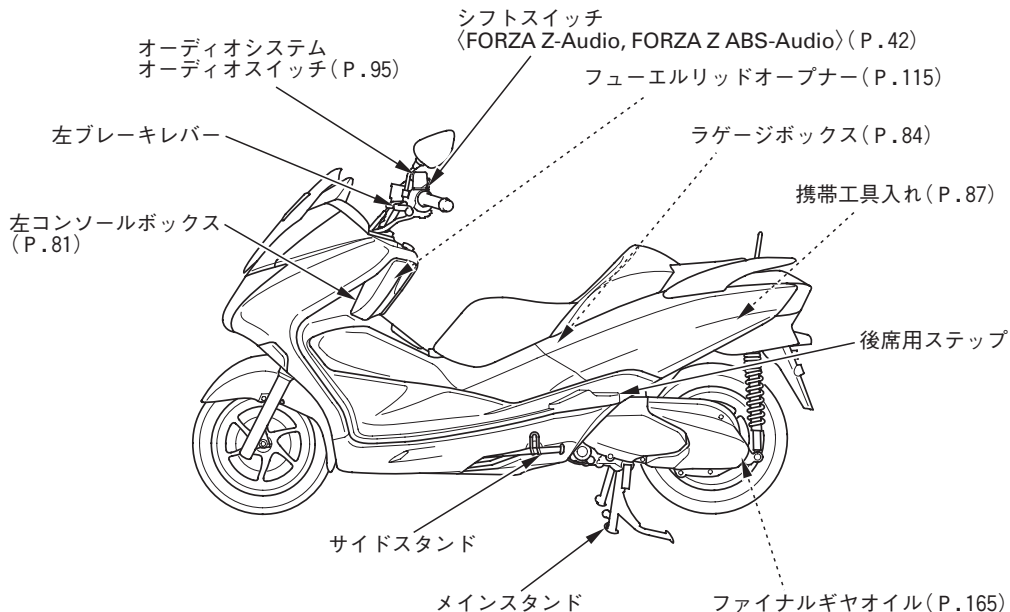
各部の名称《FORZA X, FORZA Z, FORZA Z ABS》



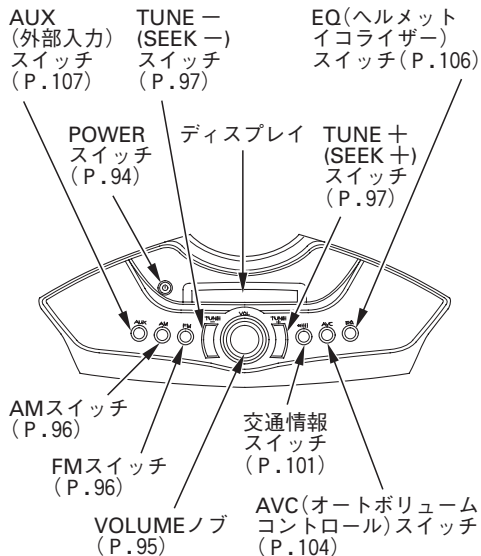
各部の名称《FORZA X-Audio, FORZA Z-Audio, FORZA Z ABS-Audio》



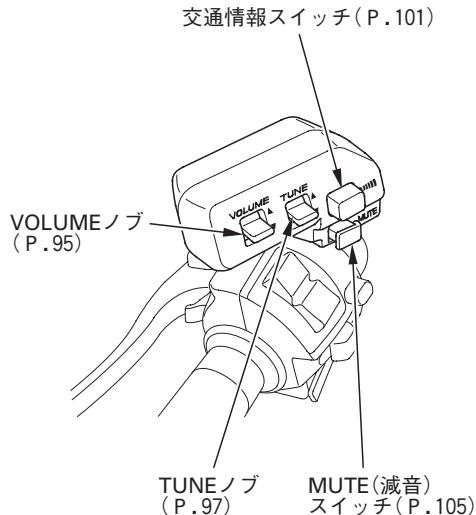
各部の名称《FORZA X-Audio, FORZA Z-Audio, FORZA Z ABS-Audio》



ヘッドユニット



オーディオスイッチ



連動ブレーキシステム

連動ブレーキシステム

- 左ブレーキレバーを操作すると後輪ブレーキが作動するとともに前輪ブレーキが作動します。
- 右ブレーキレバーを操作すると前輪ブレーキが作動します。

ブレーキは、右ブレーキレバーと左ブレーキレバーを同時に使いましょう。制動力を効果的に得るためには、右ブレーキレバーと左ブレーキレバーを同時に使う必要があります。

アンチロックブレーキシステム(ABS)

アンチロックブレーキシステム(ABS)は、直進制動時のブレーキのかけすぎによる“車輪ロック”を制御する装置です。

ブレーキ操作をしたとき、ブレーキレバーに反動が生じることがあります。

これは、ABSが作動しているときの現象で異状ではありません。そのまま、ブレーキ操作を続けてください。

知 識

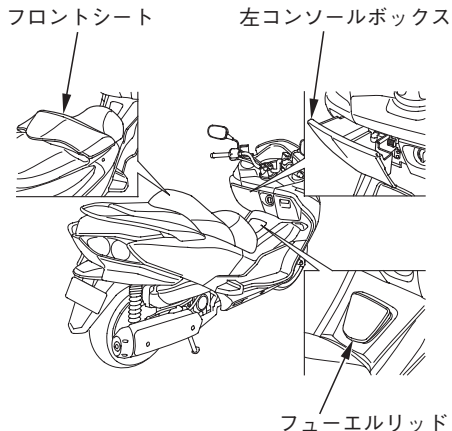
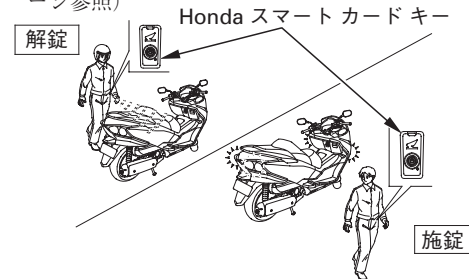
- この装置は制動距離を短くするためのものではありません。ABSを装備していない車両と同様に、路面が滑りやすくなるほど長い制動距離が必要になります。
- 車両を確実に停止させるため、低速(約10 km/h以下)ではABSは作動せず、普通のブレーキと同じ作動になります。
- ABS作動時の反動の強さは、ブレーキを操作する力や、路面の状況によって異なります。
- タイヤは必ず前後輪とも指定タイヤをお使いください。サイズ(外径)の異なるタイヤを使用すると、ABSが正常に機能しなくなることがあります。

Honda スマート カード キーシステム

Honda スマート カード キーシステム

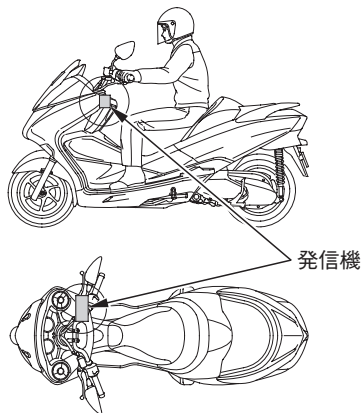
Honda スマート カード キーシステムとは、作動範囲内においてID認証(車両とカードキーの間で相互認証を行い、登録されたカードキーであることを確認する)を行うことで、カードキーを取出すことなく以下の操作が行えるシステムです。

- メインスイッチノブの解錠・施錠(32 、 33 ページ参照)
- シートロック、コンソールボックスロック、フューエルリッドロックの解除(76 、 81 、 115 ページ参照)



Honda スマート カード キーシステムの アンテナ位置について

- Honda スマート カード キーシステムは、車両とカードキーの間で電波による通信を行っています。



⚠ 注意

- メインスイッチノブを解錠・施錠するとき
 - メインスイッチノブを操作するとき
 - シートロック・コンソールボックスロックの解除をするとき
- などに車両からHonda スマート カード キーシステムの電波が発信されます。

その際、植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器の作動に影響を与える可能性があります。

車両に搭載されている発信機から22cm以内に植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器が近づかないようにしてください。

その他の医療用電子機器を使用している方は、医師や医療用電子機器製造業者に影響を確認してからご使用ください。

Honda スマート カード キーシステム

Honda スマート カード キー

カードキーを携帯していることで、メインスイッチノブの施錠・解錠およびシートロック・コンソールボックスロック・フューエルリッドロックの解除が可能になります。

IDタグやカードキー本体の内側には、カードキーのIDナンバーが表示してあります。

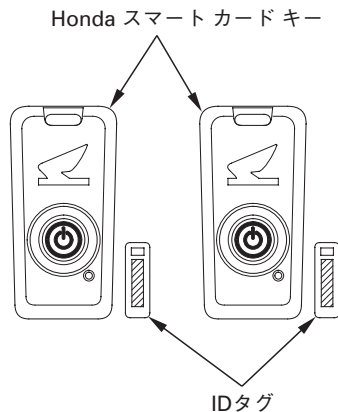
このナンバーを入力することでメインスイッチノブを解錠することができます。

解錠のしかたは、187 ページを参照してください。

IDタグは、カードキーの紛失や電池切れなどの緊急時に備えて、メカニカルキーと共に携帯してください。

カードキーとの同時紛失防止のため、カードキーとは別に携帯してください。

万が一の場合に備えて、IDナンバーを紙などに控えて車両以外の場所に大切に保管してください。



Honda スマート カード キーには信号を発信するための精密な電子部品が内蔵されています。電子部品の故障を防ぐため、取扱いには次のことをお守りください。

- カード キーを無理に曲げたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
- 直射日光のあたるところ、高温、多湿になるところには置かないでください。
- 削ったり、穴を開けたりしないでください。
- 磁気を帯びたキーホルダーなどを付けないでください。
- テレビ、オーディオ、パソコンなどの電化製品、または低周波治療器などの医療用電子機器の近くに置かないでください。
- 水に濡らさないでください。
- 火であぶったりしないでください。
- 超音波洗浄器などで洗浄しないでください。

- カード キーにガソリンなどの燃料やツヤ出し剤、油脂類が付着すると、本体が変形したり、ひび割れの原因となるおそれがあります。
- 電池交換のときやIDナンバーを確認するとき以外は、分解しないでください。
カード キー本体のカバー以外の箇所は、分解しないでください。

Honda スマート カード キーシステム

- カード キーを紛失しないようにしてください。
カード キーを全て紛失した場合、Honda スマート カード キーシステムユニットの交換が必要になります。

Honda スマート カード キーシステムユニットの交換を避けるため、予備カード キーを作成することをおすすめします。

予備のカード キーの作成については、専用のカード キーおよびHonda スマート カード キーシステムの再登録が必要になりますので、お買い上げのHonda販売店へご相談ください。

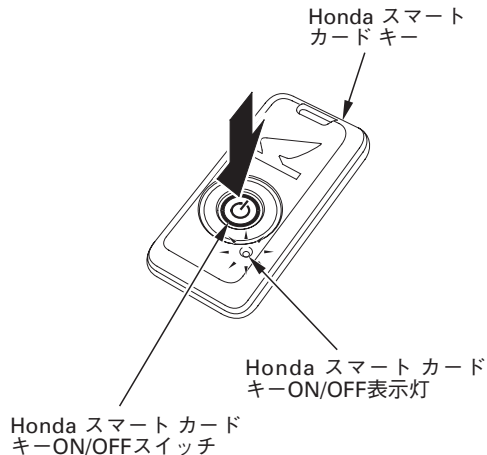
知 識

- カード キーが金属製のものに接したり、覆われていると、通信不良の原因になることがあります。
- カード キーが作動範囲にあると、カード キーを身につけていない人でもエンジンの始動やメインスイッチノブ、シートロック、コンソールボックスロックの解除が可能ですのでご注意ください。
- カード キーは運転者が必ず身につけてください。
- カード キーは常に電波を受信しているため、常に電池を消耗しています。
電池の寿命は、使用状況によりますが約2年です。
強い電波を受信し続けた場合、電池を著しく消耗することがありますので、テレビやパソコンなどの電化製品の近くには置かないでください。

Honda スマート カード キーシステムの切換え
カード キーON/OFFスイッチを1秒以上押しつづけることで、カードキーシステムのON、OFFの切換えを行うことができます。

また、ON/OFFスイッチを軽く押すことで、現在の作動状態を表示灯によって確認することができます。

表示灯が緑色のとき…ID認証作動可能状態です。
表示灯が赤色のとき…ID認証作動停止状態です。

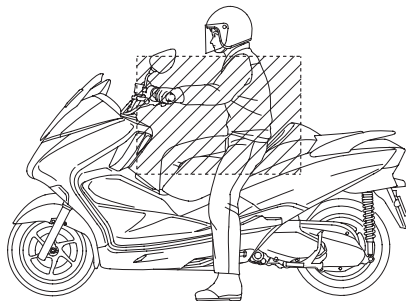
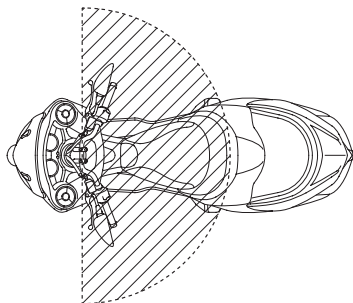


Honda スマート カード キーシステム

Honda スマート カード キーシステムの 作動範囲について

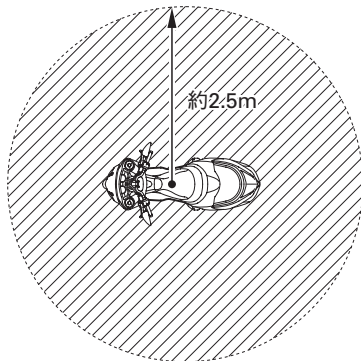
《解錠時の通信範囲について》

イラストの斜線範囲内で通信を行います。



《施錠時の通信遮断範囲について》

ホイールベースの中心から、全方向へ半径約2.5 mの範囲以上離れると通信を遮断して施錠を行います。



知 識

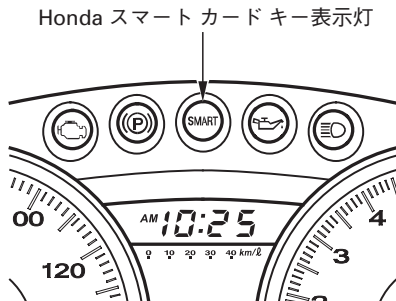
- カード キーシステムは微弱電波を使用しているため、周囲の状況により作動範囲が広くなったり、狭くなったりすることがあります。
- カード キーの電池が消耗しているときや、強い電波、ノイズのある場所などでは、作動範囲が狭くなったり、作動しないことがあります。

Honda スマート カード キーシステム

Honda スマート カード キー表示灯

《ID認証時の表示》

ID認証が取れるとカードキー表示灯が点灯し、メインスイッチノブが解錠します。メインスイッチノブを“ON”にすると、カードキー表示灯が約2秒後に消灯し、エンジンの始動が可能になります。消灯しない場合、エンジンの始動はできません。



知 識

- エンジンストップスイッチが“ ”(OFF)の位置ではメインスイッチノブを“ON”にしても、カードキー表示灯は消灯しません。
- メインスイッチノブ押し込み後、約20秒以内にメインスイッチノブ操作を行わなかった場合、カードキー表示灯が消灯し、メインスイッチ照明およびすべての方向指示器が2回点滅してからメインスイッチノブが施錠されます。
- メインスイッチノブを“ON”から“OFF”または“LOCK”に回してから約20秒経つと通信範囲内であってもカードキー表示灯が消灯し、メインスイッチ照明およびすべての方向指示器が2回点滅してからメインスイッチノブが施錠されます。

《ボタン電池消耗時の表示》

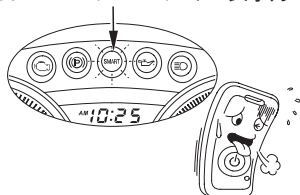
カードキーのボタン電池が消耗している場合、メインスイッチノブを“ON”にすると、メータ内のカードキー表示灯が5回点滅することによりボタン電池の消耗をお知らせします。

表示灯が点滅し始めた場合、新しいボタン電池と交換してください。

カードキーのボタン電池交換については、39ページを参照してください。

カードキーのボタン電池が切れたときのメインスイッチノブの解錠については、187ページを参照してください。

Honda スマート カード キー表示灯



《Honda スマート カード キー通信不良時の表示》

走行中のカードキーの紛失や電池の消耗、強い電波やノイズのある場所等、通信不良時に点滅することがあります。

ただし走行に影響はありません。

表示灯が点滅した状態のままメインスイッチノブを“OFF”または“LOCK”にすると、メインスイッチノブが施錠されます。

カードキーが無くてもメカニカルキーとIDタグを使用し、メインスイッチノブを解錠することができます。

解錠方法については、187ページを参照してください。

Honda スマート カード キーシステム

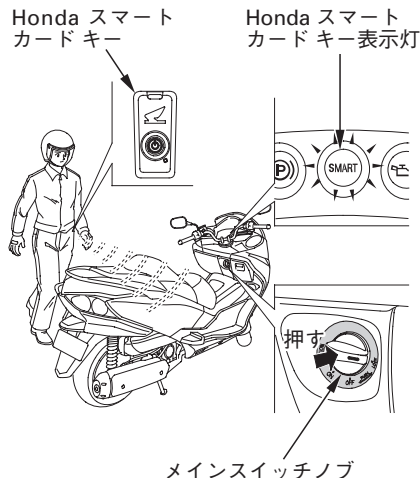
メインスイッチノブの解錠

1. Honda スマート カード キーを携帯し、作動範囲内に入ります。
2. エンジンストップスイッチが“○”(RUN)の状態メインスイッチノブを押し込みます。
正常にID認証が行われると、メータ内のカードキー表示灯が点灯します。
3. メインスイッチノブを“ON”に回します。

Honda スマート カード キーシステムが作動しないときは、36 ページを参照してください。

知 識

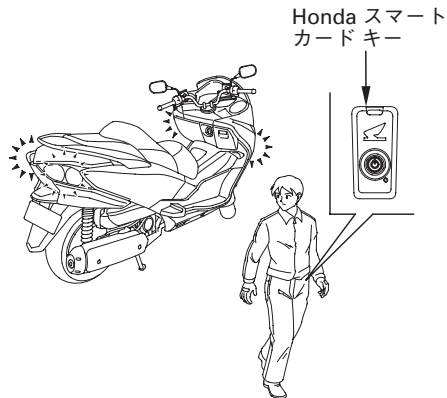
- 盗難やいたずら目的でメインスイッチノブを回そうとすると、メインスイッチノブが空回りする仕様となっています。
メインスイッチノブが施錠した位置と違うときは、一度施錠した位置(“OFF”)または“LOCK”)に戻してから、メインスイッチノブを押し込んでください。



メインスイッチノブの施錠

1. メインスイッチノブを“OFF”または“LOCK”に回します。
2. Honda スマート カード キーを携帯して作動範囲から離れると、メインスイッチ照明およびすべての方向指示器が2回点滅してメインスイッチノブが施錠されます。

Honda スマート カード キーシステムが作動しないときは、36 ページを参照してください。

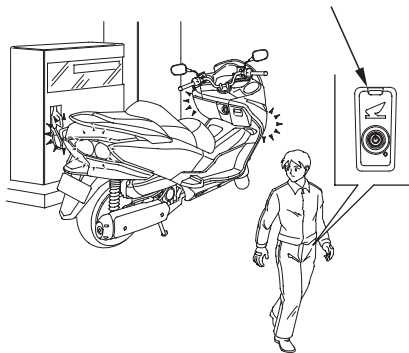


Honda スマート カード キーシステム

ガソリンスタンドやお店などで車から離れるときは、必ずハンドルロックをかけ、カードキーを携帯した状態で離れてください。

このとき必ずすべての方向指示器が2回点滅したことを確認してください。

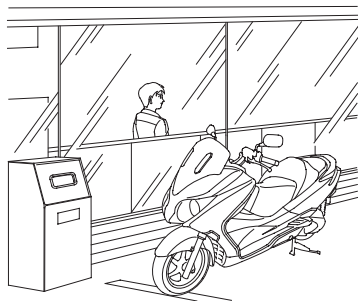
Honda スマート カード キー



お店のガラス越しや家の塀越しなどの隔てた場所でも車を駐車した場所がHonda スマート カード キーシステムの作動範囲内にあると、他の人でもメインスイッチノブの解錠およびエンジン始動が可能です。

このようなときは、Honda スマート カード キーシステムをOFFにしてください。

Honda スマート カード キーシステムの切換えについては、27 ページを参照してください。



知 識

- メインスイッチノブが“OFF”の位置では、作動範囲から離れてもハンドルロックされません。
- メインスイッチノブが“ON”の位置では、施錠されません。
- カードキーが作動範囲にあると、カードキーを携帯していない人でもエンジンの始動やメインスイッチノブ、シートロック、コンソールボックスロックの解除が可能ですのでご注意ください。
- カードキーは運転者が必ず携帯してください。
- カードキーの電池が消耗しているときや、強い電波、ノイズのある場所などでは、作動範囲が狭くなったり、作動しないことがあります。

知 識

- メインスイッチノブ押し込み後、約20秒以内にメインスイッチノブ操作を行わなかった場合、カードキー表示灯が消灯し、メインスイッチ照明およびすべての方向指示器が2回点滅してからメインスイッチノブが施錠されます。
- メインスイッチノブを“ON”から“OFF”または“LOCK”に回してから約20秒経つと通信範囲内であってもカードキー表示灯が消灯し、メインスイッチ照明およびすべての方向指示器が2回点滅してからメインスイッチノブが施錠されます。
- カードキーの電源がOFFになっていると作動範囲内であっても作動しません。

Honda スマート カード キーシステム

Honda スマート カード キーシステムが 作動しないとき

Honda スマート カード キーシステムが作動しないときは以下を確認してください。

Honda スマート カード キーシステムをOFFにしている。

- カード キーシステムをONに切換えてください。
Honda スマート カード キーシステムの切換えについては、27 ページを参照してください。

メインスイッチノブを“ON”にしたとき、カードキー表示灯が5回点滅している。

- ボタン電池を交換してください。ボタン電池の交換については、39 ページを参照してください。

強い電波やノイズのある場所などで使用している。

- 通信不良の原因になることがあります。

Honda スマート カード キーシステムは、微弱な電波を使用しています。よって下記のような使用環境ではHonda スマート カード キーシステムが正常に作動しないことがあります。

- 近くにテレビ塔や発電所、放送局、空港など強い電波を発生する設備があるとき。
- 無線機や携帯電話などの無線通信機器やノートパソコンなどを一緒に携帯しているとき。
- カードキーが金属製のものに接したり、覆われているとき。

カードキーにボタン電池が入っていないもしくはボタン電池を正しく取付けていない。

- ボタン電池を確認してください。
ボタン電池を確認するときは、39 ページを参照してください。

登録された専用のカードキーを使用していない。

- 登録された専用のカードキーを使用しないと、Honda スマートカードキーシステムは作動しません。
登録された専用のカードキーを使用してください。

壊れたカードキーを使用している。

- 22 ページを確認してください。壊れたカードキーを使用した場合、Honda スマートカードキーシステムは作動しません。
別の登録されたカードキーを使用してください。

車両のバッテリーが弱っている、もしくはあがっている。

- 通信不良の原因になることがあります。
Honda販売店にご相談ください。

以上のこと以外で、Honda スマートカードキーシステムが作動しない場合はHonda販売店にご相談ください。

緊急時のメインスイッチノブの解錠については、187 ページを参照してください。

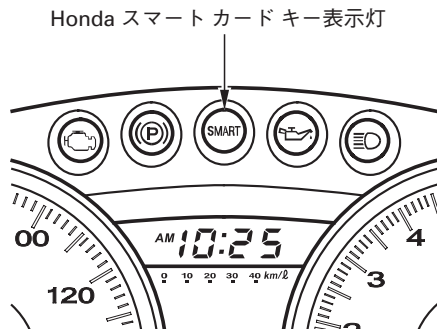
メカニカルキーを使用時のシートロック・コンソールボックスロックの解除については、89 ページを参照してください。

Honda スマート カード キーシステム

Honda スマート カード キー表示灯 が点滅したとき

走行中のカードキーの紛失や電池の消耗、強い電波やノイズのある場所等、通信不良時にカードキー表示灯が点滅することがあります。
ただし走行に影響はありません。

カードキー表示灯が点滅した状態のままメインスイッチノブを“OFF”または“LOCK”に回すと、メインスイッチノブが施錠されます。

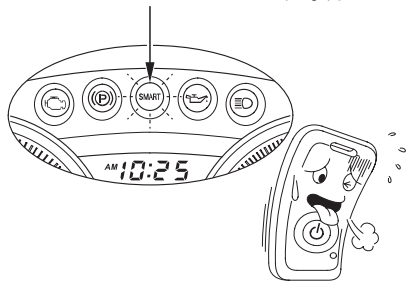


Honda スマートカードキーの電池交換

メータ内のカードキー表示灯が5回点滅した場合や作動距離が不安定になった場合は、電池の消耗が考えられますので、早めに電池を交換してください。

使用電池……………ボタン電池 CR2032

Honda スマートカードキー表示灯



⚠ 注意

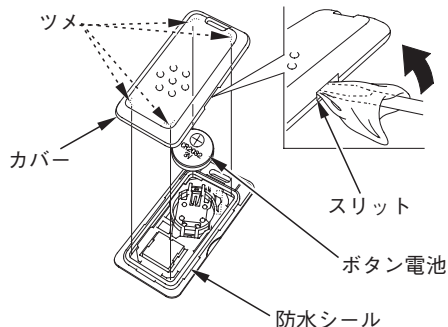
ボタン電池および取外した部品は小さいため、子供が誤って飲み込み、傷害を受ける可能性があります。

ボタン電池および取外した部品を子供の手の届く所に置かないでください。

Honda スマート カード キーシステム

《電池交換のしかた》

1. カードキーON/OFFスイッチを下に向けた状態でカードキー本体を保持します。
2. 本体右側にあるスリットに、傷つき防止のためのウエスをあてたマイナスドライバーもしくはコインなどを差し込み、本体を分解します。
3. 古いボタン電池を取出し、新しいボタン電池の⊕側が見えるようにしてはめ込みます。



4. 本体を組み付けるときは、カバー内側にあるツメを本体の合わせ部に合わせるように組み付けます。

🏍️ アドバイス

- ドライバーまたはコインなどにウエスなどをあてながら外してください。本体に傷をつけるおそれがあります。
- ボタン電池の⊕極と⊖極は必ず正しく取り付けてください。
- 本体の内部回路、電子端子などに触れないでください。故障の原因となります。
- 防水シール部分の傷つきやゴミの混入にご注意ください。耐水性能の低下や故障の原因となります。
- 電池交換の際、本体に無理な力を加えないでください。

🎓 知識

- ボタン電池はHonda販売店または時計店、カメラ店などでお買い求めください。

Honda S マチック

Honda S マチックとは、電子制御により二種類(Dモード／Sモード)のオートマチックモード、7速オートシフトモード、7速マニュアルモードが選択できるシステムです。

オートマチックモード

スロットルグリップの開き具合と走行速度に応じて低速から高速まで自動的に変速するモードです。オートマチックモードではDモード、Sモードと2つのモードを選択できます。

Dモード

オートマチックモード選択時での基本モードです。通常走行する場合に選択してください。燃費を重視した走行が可能です。

Sモード

オートマチックモード時での追い越し、登坂、発進、2人乗りなど、より大きな駆動力が必要な場合に選択してください。駆動力を重視した力強い走行が可能です。

7速オートシフトモード

スロットルグリップの開き具合、走行速度、エンジンの回転数などに応じて1速～7速の変速段が自動的に選択されます。

スロットルグリップの開閉だけでさまざまなシチュエーションに合った走行をすることができます。

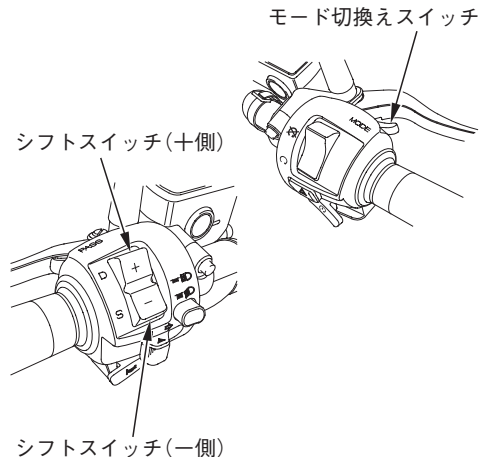
7速マニュアルモード

シフトスイッチ操作によって任意に1速～7速の変速段が選択できるモードです。ワインディングなどでのスポーティな走りに適しています。

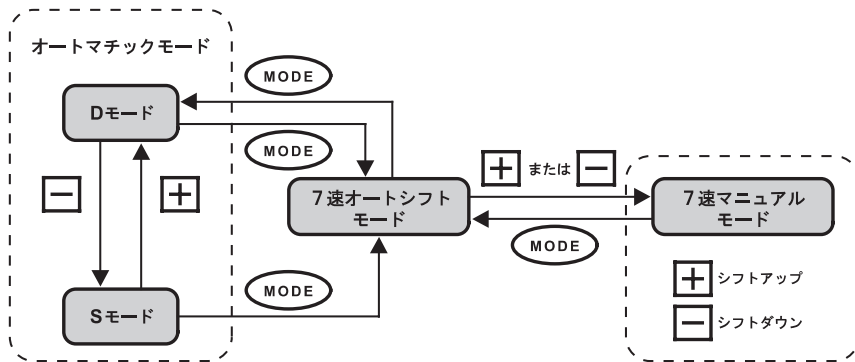
各モードの切換え

各モードの切換えはハンドル右側にあるモード切換えスイッチとハンドル左側にあるシフトスイッチの+側と-側を操作して行います。

各モードの切換え方法の詳細については 45 - 51 ページを参照してください。



下図のように各モードへ移りかわります。



MODE (oval) モード切換えスイッチ **+** (square) シフトスイッチ (+側) **-** (square) シフトスイッチ (-側)

表示灯

《Dモード表示灯》

オートマチックモードでDモード選択時に点灯します。

《Sモード表示灯》

オートマチックモードでSモード選択時に点灯します。

《“A”アイコン》

7速オートシフトモード選択時に表示します。

《“M”アイコン》

7速マニュアルモード選択時に表示します。

《シフトインジケータ》

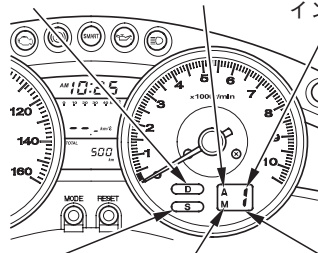
7速オートシフトモードまたは7速マニュアルモード選択時に変速段をディスプレイ内のシフトインジケータに表示します。

メインスイッチノブが“ON”の位置で、エンジンがかかっていないとき、シフトインジケータは“-”表示します。

7速マニュアルモードでのシフト制限時には、変速段が点滅します。

S マチック故障時には、シフトインジケータに“F”の文字が点滅または点灯します。

Dモード表示灯 “A”アイコン シフトインジケータ

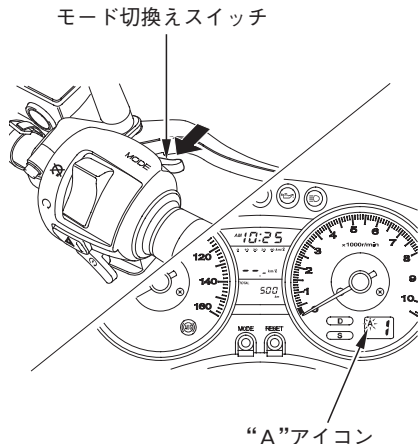


Sモード表示灯 “M”アイコン ディスプレイ

オートマチックモードと7速オートシフトモードの切換え

《オートマチックモードから7速オートシフトモードへの切換え》

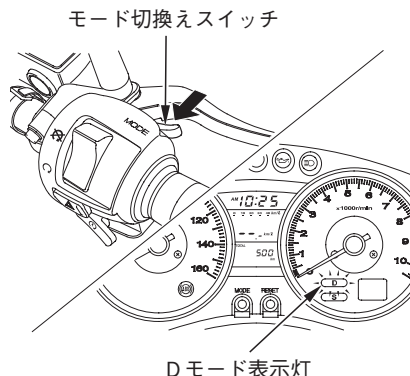
モード切換えスイッチを一度押すとタコメータ内のディスプレイに“A”アイコンが表示します。オートマチックモードから7速オートシフトモードに切換ええたとき、最適な変速段に切換わります。



《7速オートシフトモードからオートマチックモードへの切換え》

モード切換えスイッチを一度押すとタコメータ内のDモード表示灯が点灯します。

7速オートシフトモードからオートマチックモードに切換えたとき、常にDモードが選択されます。



知 識

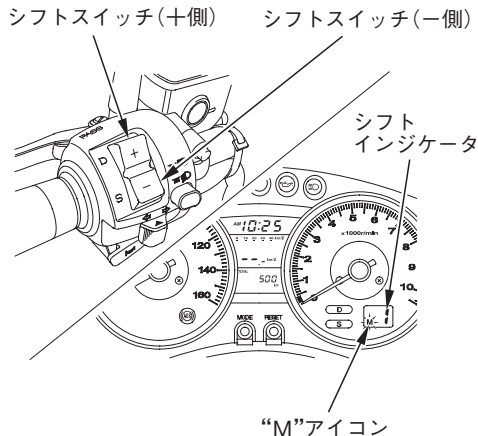
- メインスイッチノブを“ON”にすると常にDモードが選択されます。
- メインスイッチノブを“ON”の状態でエンジンストップスイッチを“”(OFF)から“”(RUN)にしたとき、常にDモードが選択されます。
- モード切換えスイッチを押しつづけても、連続してモード切換えを行えません。
- オートマチックモードから7速マニュアルモードへは直接、切換えを行えません。
- オートマチックモードから7速オートシフトモードに切換えたとき、速度に合った変速段を選択するため、エンジン回転数が多少変動することがあります。

7速オートシフトモードと7速マニュアルモードの切換え

《7速オートシフトモードから7速マニュアルモードへの切換え》

シフトスイッチの+側または-側を押すと、タコメータ内のディスプレイに“M”アイコンが表示します。

シフトスイッチ(+側)を一度押すと、一段シフトアップして7速マニュアルモードに切替わります。シフトスイッチ(-側)を一度押すと、一段シフトダウンして7速マニュアルモードに切替わります。

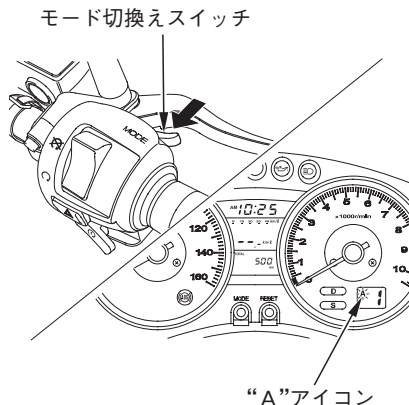


《7速マニュアルモードから7速オートシフトモードへの切換え》

モード切換えスイッチを一度押すとタコメータ内のディスプレイに“A”アイコンが表示します。

知 識

- モード切換えスイッチを押しつづけても、連続してモード切換えを行えません。
- 7速マニュアルモードからオートマチックモードへは直接、切換えを行えません。



オートマチックモード時のDモードとSモードの切換え

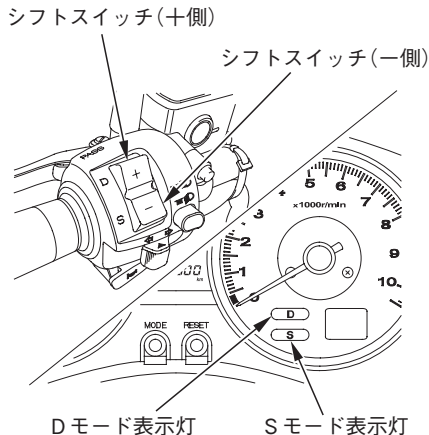
オートマチックモード選択時にシフトスイッチを押してDモードとSモードの切換えを行います。

《DモードからSモードへの切換え》

シフトスイッチ(一側)を一度押すとタコメータ内のSモード表示灯が点灯し、Sモードに切替わります。

《SモードからDモードへの切換え》

シフトスイッチ(+側)を一度押すとタコメータ内のDモード表示灯が点灯し、Dモードに切替わります。



7速マニュアルモード時のシフト操作

7速マニュアルモード選択時にシフトスイッチを押して変速を行います。

変速段がディスプレイ内のシフトインジケータに表示されます。

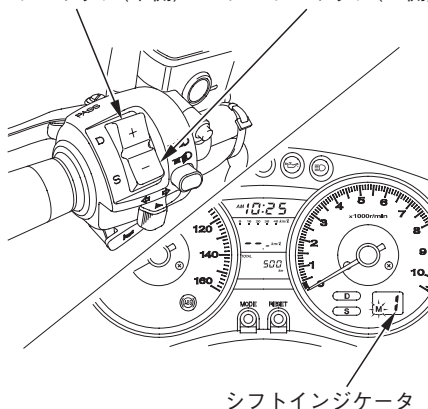
シフトスイッチ(+側)を一度押すとシフトアップします。

シフトスイッチ(-側)を一度押すとシフトダウンします。

アドバイス

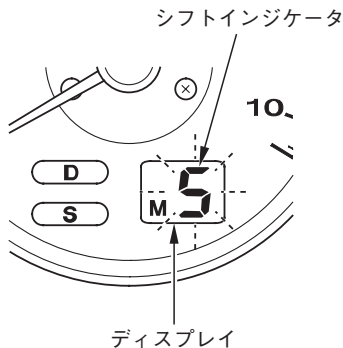
- 7速マニュアルモードでは自動的にシフトアップしません。エンジン回転数がレッドゾーンに入らないようにシフト操作をしてください。

シフトスイッチ(+側) シフトスイッチ(-側)



《シフト制限》

7速マニュアルモードでのシフト操作時において、走行装置に支障をきたすと判断した場合、もしくはエンジン回転数がレブリミットを超えると判断した場合はディスプレイ内のシフトインジケータが点滅してシフト操作が行えません。



知 識

- シフトスイッチ 1 回の操作で、一段変速します。
シフトスイッチを押したままでは連続で変速しません。続けて変速するときは、一度シフトスイッチから指を離して再び操作してください。
- 7速マニュアルモードでも低速になると自動的にシフトダウンします。

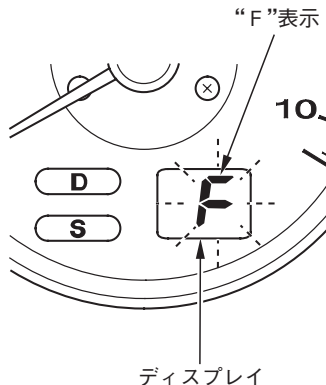
Honda S マチックが故障したとき

各モードの切換えや7速マニュアルモード走行時のシフト操作が行えなくなったとき、ディスプレイ内の“F”表示が点滅または点灯することでHonda S マチックの故障をお知らせします。

ただちに Honda 販売店にご相談ください。

知 識

- 故障箇所に応じて、Dモード相当の走行またはマニュアル1速程度の走行のどちらかに固定されますが、通常走行時ほど速度はできません。



メータの見かた、使いかた

計器類

メインスイッチノブを“ON”の位置にすると、速度計(スピードメータ)とエンジン回転計(タコメータ)の指針は、一度最高目盛に振れた後、“0”に戻ります。

水温計と燃料計の指針は、一度最高目盛に振れてから最下端位置に戻り、その後現在の水温と燃料残量を指します。

速度計(スピードメータ)

走行中の速度を示します。法定速度を守り安全走行してください。

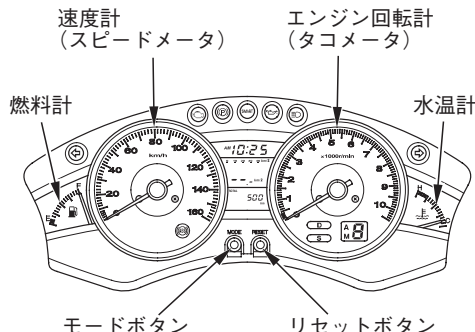
モードボタン

積算距離計(オドメータ)、区間距離計(トリップメータ)の表示切換え(57ページ参照)、時刻合わせ(60ページ参照)に使用します。

リセットボタン

区間距離計(トリップメータ)のリセット(58ページ参照)、時刻合わせ(60ページ参照)、エンジンオイル交換時期表示のリセット(65ページ参照)に使用します。

安全運転に支障をきたすおそれがありますので走行中はモードボタン、リセットボタンの操作は行わないでください。



メータの見かた、使いかた

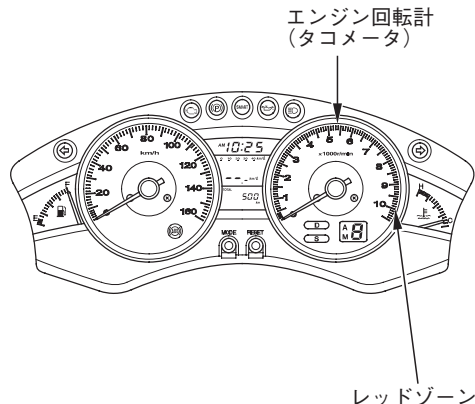
エンジン回転計(タコメータ)

エンジンの回転数を示します。

エンジン回転数がレッドゾーンに入らないようにしてください。

アドバイス

- 空ぶかし及び急加速はレッドゾーンに入りやすいので特に注意してください。
レッドゾーンとはエンジンの限界回転域を示したものです。レッドゾーン以上で使用するとエンジン回転が不円滑になり、エンジン寿命に悪影響を与えるだけでなく、最悪の場合エンジンがこわれます。



水温計

エンジン冷却水の温度を示します。

エンジン回転中は、指針が目盛の赤マークより低温側にあるのが正常です。

指針が赤マークを指した場合、オーバーヒートのおそれがあります。ただちに安全な場所に停車してください。

処置手順は、190 ページ参照。

アドバイス

- 指針が赤マークを指したまま、走行を続けるとエンジン故障の原因となります。

知 識

- 高温下での長時間にわたるアイドリングにより、指針が赤マークを指す場合があります。この場合は、走行してエンジンを冷やすか、またはエンジンが冷えるまで停止してください。

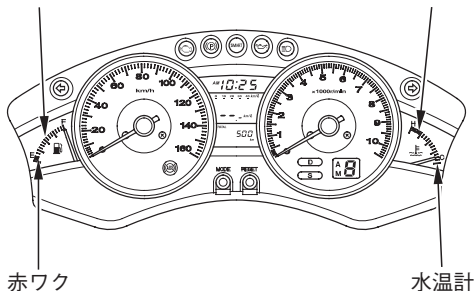
燃料計

燃料タンク内のガソリンの量を示します。

指針が赤ワクに入りかけたときは、早めにガソリンを補給してください。

このときの燃料残量；約 2.1 ℓ

燃料計



メータの見かた、使いかた

ディスプレイ

時計、燃費計(瞬間燃費、平均燃費)、区間距離計(トリップメータ)、積算距離計(オドメータ)、エンジンオイル交換時期の表示を行います。

《初期表示》

メインスイッチノブを“ON”の位置にすると、すべての表示があらわれます。

このとき表示されない部分がある場合は、お買い上げのHonda販売店で点検を受けてください。

約2秒後に通常表示となります。

[初期表示]



[通常表示]



[積算距離計、区間距離計]

積算距離計(オドメータ)

走行した総距離をkmの単位で示します。

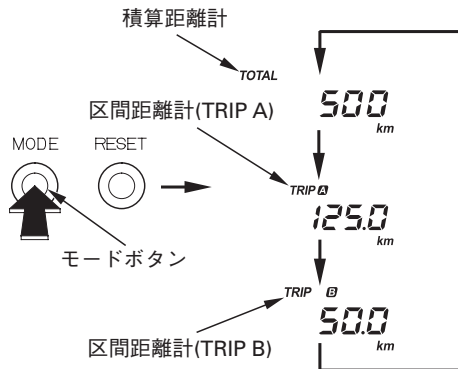
区間距離計(トリップメータ)

メータをリセット(“0”に戻す)した時点からの走行距離を示します。

区間距離計(トリップメータ)には“TRIP A”、“TRIP B”のモードがあります。

表示の切換え

モードボタンを押すごとに表示が右図のように変わります。

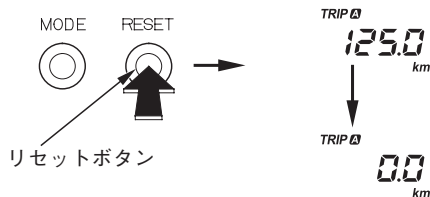


メータの見かた、使いかた

区間距離計のリセット

“TRIP A”または“TRIP B”の状態ではリセットボタンを2秒以上押し続けます。

リセットのときは表示されている方だけ(例えば“TRIP A”が表示されていれば“TRIP A”だけ)がリセットされます。



[燃費計]

瞬間燃費

瞬間燃費をkm/ℓの単位でバーグラフ表示します。
速度が0km/hのときはバーグラフは“0”表示になります。

平均燃費

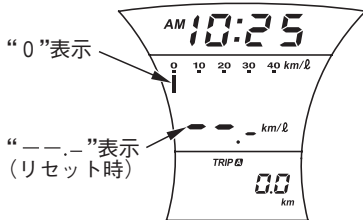
TRIP Aと連動して平均燃費をkm/ℓの単位で表示します。

TRIP Aをリセットしてから次にリセットするまでの平均燃費を表示します。

TRIP Aをリセットすると平均燃費表示は“—.—”になります。

知 識

- 表示される燃費値は走行中の瞬間的な値ですので、満タンにし計測した値とは異なります。
経済運転をする上での目安としてご利用ください。

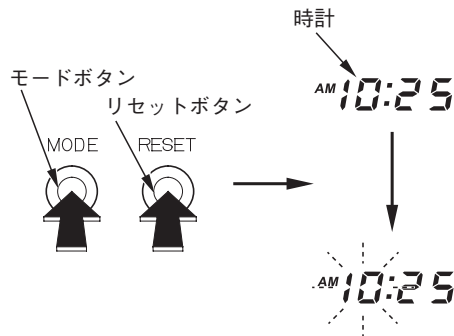


メータの見かた、使いかた

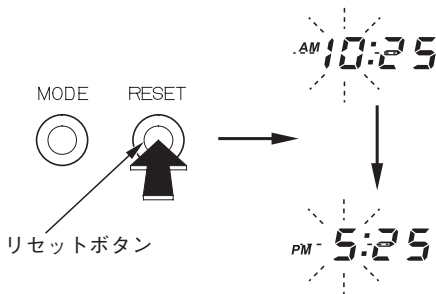
[時計]

《時刻の合わせかた》

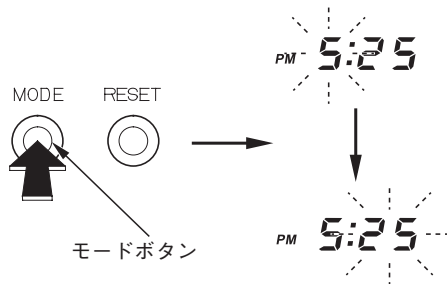
1. メインスイッチノブを“ON”の位置にします。
2. モードボタンとリセットボタンを同時に2秒以上押し続けます。時計が時刻修正モードに切りかわり、“時”の表示が点滅します。



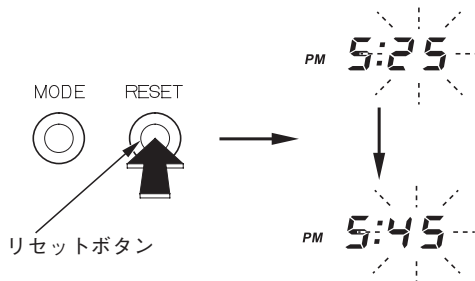
3. リセットボタンを押し、“時”を修正します。
ボタンを1回押すと数字はひとつだけ進み、
ボタンを押し続けると数字が進みます。ただし数字は12から1へ戻ります。また、AM、PMの表示は、“時”が11から12へ進むと同時に切りかわります。



4. モードボタンを押し、“時”を決定します。そのとき表示は“分”が点滅します。



5. リセットボタンを押し、“分”を修正します。ボタンを1回押すと数字はひとつだけ進み、ボタンを押し続けると数字が進みます。ただし数字は59から00に戻ります。



6. モードボタンを押す、またはメインスイッチノブを一度“OFF”にしてから再度“ON”にしてください。表示の点滅が消え、通常表示に戻ります。

時刻修正時、約2分間ボタンの操作がない場合、時計の修正は無効となり、修正前の時刻に戻ります。

メータの見かた、使いかた

警告灯・表示灯

油圧警告灯

エンジン回転中、エンジン内部を潤滑しているオイルの圧力が低下すると点灯します。

エンジン回転中に点灯した場合は、ただちに安全な場所に停車してエンジンを止め、エンジンオイル量を点検してください。

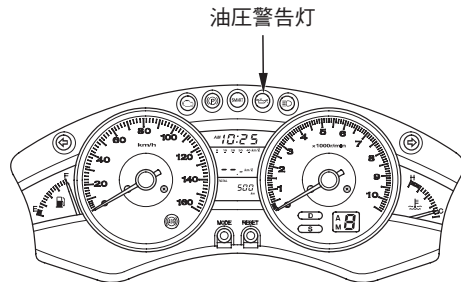
エンジンオイルが減っていないのに点灯しているときや、エンジンオイルを補給しても点灯するときは、ただちにHonda販売店にご相談ください。エンジンオイル量の点検は、151 ページ参照。

アドバイス

- 油圧警告灯が点灯したまま走行しないでください。エンジンが破損するおそれがあります。

知識

- 油圧警告灯は、メインスイッチノブを“ON”にすると点灯し、エンジンを始動すると同時に消灯するのが正常です。



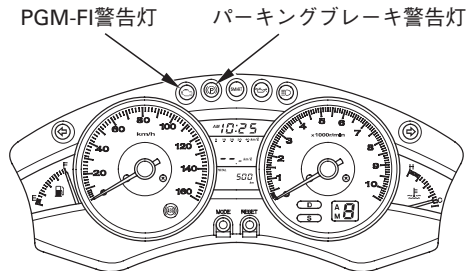
パーキングブレーキ警告灯

パーキングブレーキグリップが完全に戻っていないときに点灯します。

PGM-FI警告灯

エンジンストップスイッチが“○”(RUN)、メインスイッチノブが“ON”のときPGM-FIシステムに異常があると点灯し続けます。

警告灯が点灯し続けた場合は高速走行を避け、ただちにHonda販売店にご相談ください。



知 識

- PGM-FI警告灯は、エンジンストップスイッチを“○”(RUN)、メインスイッチノブを“ON”にすると点灯し数秒後に消灯するのが正常です。

メータの見かた、使いかた

〈FORZA Z ABS, FORZA Z ABS-Audio〉

アンチロックブレーキシステム(ABS)警告灯

ABS警告灯は、メインスイッチノブを“ON”にすると点灯し、走行(車速約10 km/h以上)すると消えるのが正常です。

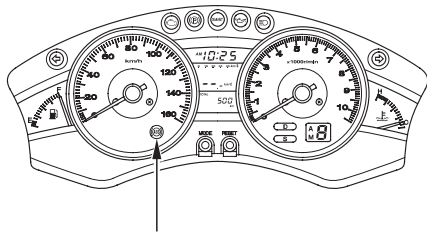
警告灯が次のような状態になったときは、システムの異常が考えられますので、すみやかにHonda販売店にご相談ください。

- 運転中に点灯または点滅したとき。
- メインスイッチノブを“ON”にしても点灯しないとき。
- 10km/h以上で走行しても消灯しないとき。

なお、この場合でも通常のブレーキとしての性能は確保されています。(ABSとしての作動はしません)

知 識

- ABS警告灯が消灯した状態でメインスタンドを立てるなどして後輪を空転させた場合、点滅する場合があります。この場合一度メインスイッチノブを“OFF”にし、再度メインスイッチノブを“ON”にし警告灯が点灯し、30km/h以上の速度で走行したあとに消灯すれば正常です。



アンチロックブレーキシステム
(ABS)警告灯

エンジンオイル交換時期表示

走行距離が初回1,000kmまたは、エンジンオイル交換時期表示をリセットした時点より6,000kmを経過すると表示します。

エンジンオイル交換時期表示が現われたときが、エンジンオイル交換の目安です。

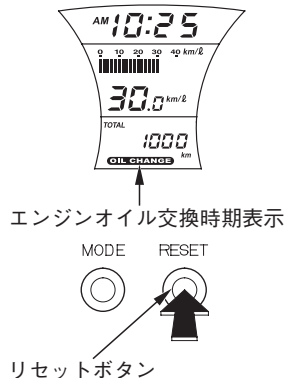
エンジンオイルの交換は、Honda販売店にご相談ください。

《エンジンオイル交換時期表示のリセット》

1. リセットボタンを押した状態でメインスイッチノブを“ON”にし、リセットボタンを約3秒間押し続けます。
2. エンジンオイル交換時期表示が消えてリセットされます。

知 識

- エンジンオイル交換時期表示はメインスイッチノブを“ON”にすると表示し数秒後に消えるのが正常です。
- エンジンオイル交換時に必ずリセットしてください。リセットを行わないと交換時期の目安にはなりません。



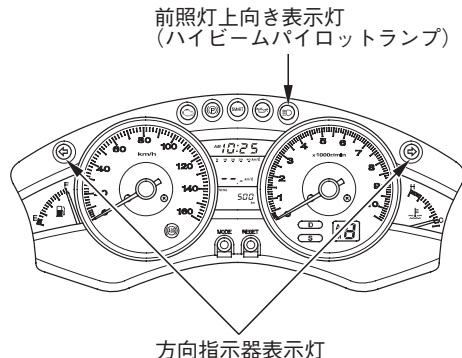
メータの見かた、使いかた

方向指示器表示灯

方向指示器が点滅しているときに点滅します。非常駐車灯スイッチ(ハザードスイッチ)使用時またはメインスイッチノブ施錠時に左右の表示灯が同時に点滅します。

前照灯上向き表示灯(ハイビームパイロットランプ)

照射角が上向きのときに点灯します。



スイッチの使いかた

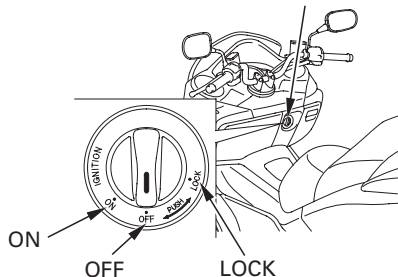
メインスイッチノブ

メインスイッチノブを操作することでスイッチが作動し、電気回路の断続を行います。

走行中はメインスイッチノブを操作しないでください。

メインスイッチノブを“OFF”や“LOCK”の位置にすると電気系統は作動しません。走行中にメインスイッチノブを操作すると思わぬ事故につながるおそれがありますので必ず停車してから操作してください。

メインスイッチノブ



メインスイッチ ノブの位置	作 用
ON	始動・昼夜間走行 ● 前照灯(ヘッドライト)などが常時点灯する ● ホーン・方向指示器・制動灯(ストップランプ)などが使える ● オーディオシステムが使える (FORZA X-Audio, FORZA Z-Audio, FORZA Z ABS-Audio)
OFF	停止 ● 電気回路を遮断する
LOCK	ハンドルのロックができる ● 電気回路を遮断する

スイッチの使いかた

アドバイス

- この車はメインスイッチノブを“ON”にすると前照灯(ヘッドライト)が常時点灯します。エンジンをかけずに“ON”の状態にしておくと、バッテリーあがりの原因となります。

知 識

- 車を離れるときは、ハンドルロックをかけ、カードキーを携帯した状態で離れてください。車から離れるとメインスイッチノブが施錠されます。
このとき必ずすべての方向指示器が2回点滅したことを確認してください。
- カードキーが作動範囲にあると、メインスイッチノブが“OFF”または“LOCK”の位置でもシートロック、コンソールボックスロックの解除が可能ですのでご注意ください。

前照灯上下切換えスイッチ (ヘッドライト上下切換えスイッチ)

《前照灯(ヘッドライト)の上下切換え》

前照灯上下切換えスイッチを押して行います。

≡D (H I)前照灯(ヘッドライト)が上向き

≡D (L O)前照灯(ヘッドライト)が下向き

昼間は、下向き(ロービーム)に点灯しましょう。

パッシングライトスイッチ

追越しのときに、自車の存在を知らせるためのものです。

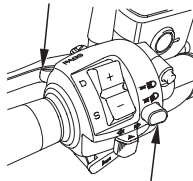
《使いかた》

パッシングライトスイッチを押して行います。

前照灯上下切換えスイッチが上向きのときは作動しません。

〈FORZA Z, FORZA Z ABS, FORZA Z-Audio,
FORZA Z ABS-Audio〉

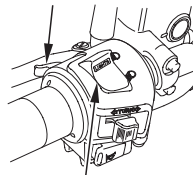
パッシングライトスイッチ



前照灯上下切換えスイッチ
(ヘッドライト上下切換えスイッチ)

〈FORZA X, FORZA X-Audio〉

パッシングライトスイッチ



前照灯上下切換えスイッチ
(ヘッドライト上下切換えスイッチ)

スイッチの使いかた

エンジンストップスイッチ

エンジンストップスイッチは、転倒など非常の場合に、手もとですぐにエンジンを止めるために設けたものです。

通常は“○” (RUN) の位置にしておいてください。

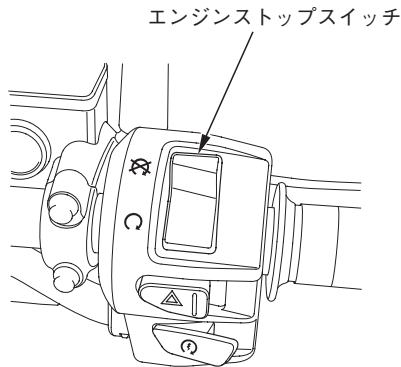
“” (OFF) の位置ではエンジンはかかりません。

エンジンストップスイッチは非常の場合以外は使用しないでください。走行中にエンジンストップスイッチを“RUN”→“OFF”→“RUN”にすると、エンジン回転が不円滑となり、走行不安定の原因となります。またエンジンにも悪影響をおよぼすおそれがあります。

アドバイス

- 非常時にエンジンストップスイッチでエンジンを停止した場合、忘れずにメインスイッチノブを“OFF”にしてください。

“ON”のままにしておくと、バッテリーあがりの原因となります。



スタータスイッチ

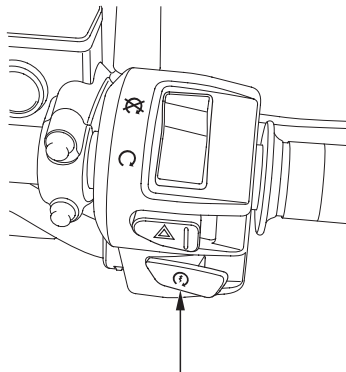
左ブレーキを強く握った状態で、スイッチを押している間、スタータモータが回転し、エンジンを始動させます。

アドバイス

- スタータモータを連続して回転させないでください。消費電力が多いため、バッテリーがあがるおそれがあります。

知 識

- エンジンストップスイッチが“ ”(OFF)のときはスタータモータは回転しません。
- サイドスタンド使用時、スタータモータは回転しません。
- スタータモータ作動時はヘッドライトが消灯します。



スタータスイッチ

スイッチの使いかた

方向指示器スイッチ

右左折する時や、進路変更する場合には方向指示器で合図します。

《使いかた》

メインスイッチノブを“ON”にしてスイッチを入れると、方向指示器が作動します。

解除は、方向指示器スイッチを押して行います。

⇐ … 左に曲がるときに操作します。

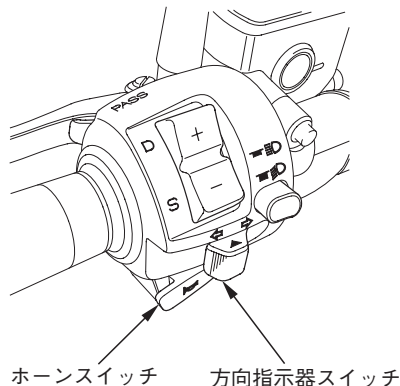
⇒ … 右に曲がるときに操作します。

知 識

- 方向指示器スイッチは、自動的に解除しません。使用後は、必ず解除してください。つけたままにしておくと他の方に迷惑となります。
- 電球(バルブ)は、正規のワット数以外のものを使用すると、方向指示器が正常に作動しなくなります。必ず正規のワット数のものを使用してください。

ホーンスイッチ

メインスイッチノブが“ON”のとき、ホーンスイッチを押すとホーンが鳴ります。



非常駐車灯スイッチ (ハザードスイッチ)

スイッチを入れると、すべての方向指示器のランプが点滅します。

故障等で、やむを得ず路上に駐車するときに使用します。非常時にのみ使用してください。

《使いかた》

〈FORZA Z, FORZA Z ABS, FORZA Z-Audio,
FORZA Z ABS-Audio〉

メインスイッチノブを“ON”にして非常駐車灯スイッチ(ハザードスイッチ)を押します。

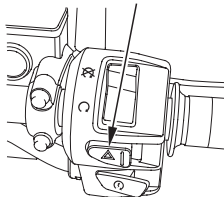
解除は、非常駐車灯スイッチをもう一度押して行います。

〈FORZA X, FORZA X-Audio〉

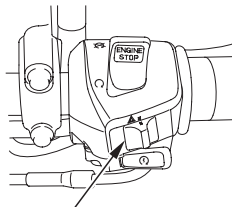
メインスイッチノブを“ON”にして非常駐車灯スイッチ(ハザードスイッチ)を横に動かし、“ON”の位置( マーク)に合わせます。

〈FORZA Z, FORZA Z ABS, FORZA Z-Audio,
FORZA Z ABS-Audio〉

非常駐車灯スイッチ
(ハザードスイッチ)



〈FORZA X, FORZA X-Audio〉



非常駐車灯スイッチ
(ハザードスイッチ)

スイッチの使いかた

知 識

- 完全充電のバッテリーでも約20分以上使用するとバッテリー容量が低下し、エンジンの始動ができなくなります。
- 非常駐車灯を使用した後は、必ずスイッチを解除してください。解除しないと方向指示器は作動しません。

装備の使いかた

ハンドルロック

盗難予防のため、駐車するときは必ずハンドルロックをかけましょう。

チェーンロック等のご使用もお勧めします。

《かけかた》

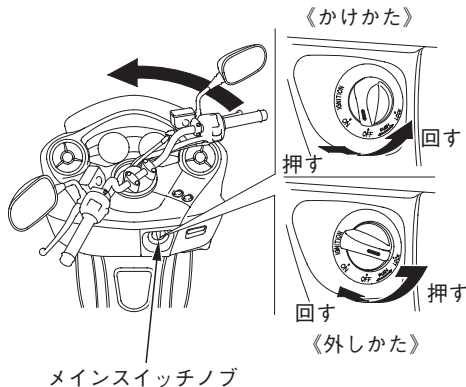
1. ハンドルを左にいっぱいにきります。
2. メインスイッチノブをいっぱいまで押し込み、“OFF”から“LOCK”の位置まで回します。
ロックがかかりにくい場合は、多少ハンドルを左右に動かしてください。
3. Honda スマート カード キーを携帯した状態で作動範囲から離れると、すべての方向指示器が2回点滅してメインスイッチノブが施錠されます。

《外しかた》

- Honda スマート カード キーシステムが作動している状態でメインスイッチノブをいっぱいまで押し込み、“LOCK”から“OFF”に回すとロックが解除されます。

知 識

- 交通のじゃまにならない安全な場所を選んで駐車しましょう。
- ハンドルが確実にロックされているか、ハンドルを軽く左右に動かして確認してください。



装備の使いかた

シート

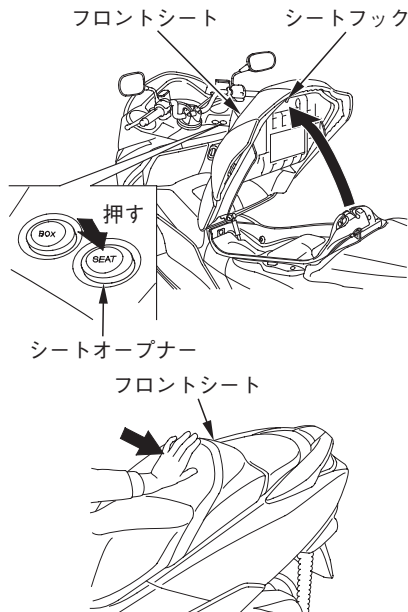
フロントシート

《開けかた》

1. Honda スマート カード キーがONの状態で作動範囲内に入ります。
2. メインスイッチノブが“OFF”または“LOCK”の位置でシートオープナーを押してロックを解除し、フロントシートを持ち上げます。

《閉じかた》

- フロントシートをおろし、フロントシート後部を後方に押し下げ、ロックします。
フロントシート後部を持ち上げ、シートフックが確実にロックされているか確認してください。



知 識

- メインスイッチノブが“ON”の位置ではシートオープナーを押してもシートは開きません。
- シートを閉めた後、完全にシートロックがかかったか確かめてください。

シートロックがかかっていないときは、シートロックを解除して、もう一度シートをロックしてください。

ロックをかけないで走行すると、走行に支障をきたすことがあります。

《FORZA Z, FORZA Z ABS, FORZA Z-Audio, FORZA Z ABS-Audio》

ラゲージランプスイッチが“ | ”(ON)の場合、ロックをかけないと、ラゲージランプが点灯したままになり、バッテリーあがりの原因になります。

知 識

- シートキャッチ周辺に荷物、布等を置かないでください。シートを閉じたときにシートフックとシートキャッチに荷物、布等がはさまり、シートが開かなくなることがあります。
- カードキーやメカニカルキー、IDタグをラゲージボックスに入れないでください。カードキーやメカニカルキー、IDタグの閉じ込めやカードキーシステムが作動しないことがあります。

装備の使いかた

リヤシート

《取外し》

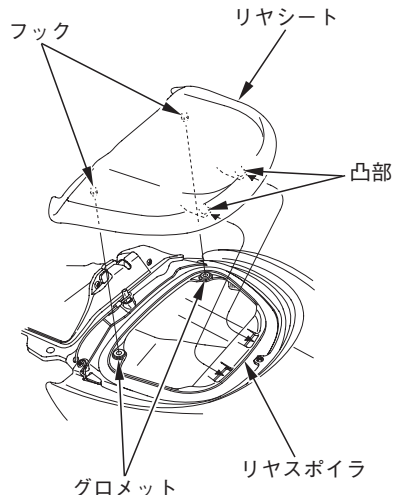
1. フロントシートを開きます。(76 ページ参照)
2. フックをグロメットから外し、リヤシートを前方へずらしながら持ち上げて取外します。

《取付け》

1. リヤシートの凸部をリヤスポイラに差し込み、リヤシートを取付けます。
2. リヤシートのフックをグロメットに差し込み、リヤシート前部を押し下げてロックします。シートを軽く持ち上げてロックがかかっていることを確認してください。

知 識

- カードキーやメカニカルキー、IDタグをラゲージボックスに入れないでください。カードキーやメカニカルキー、IDタグの閉じ込めやカードキーシステムが作動しないことがあります。



ヘルメットホルダ

ヘルメットホルダは、駐車時のみに使用するものです。

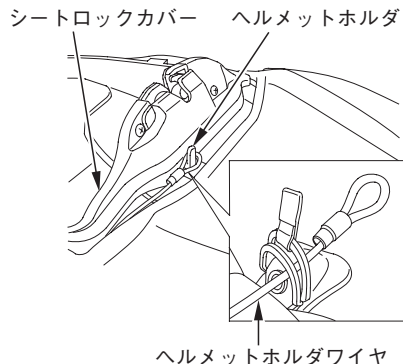
走行時に使用すると、ヘルメットが運転を妨げたり、車体に損傷を与えることがあります。また、ヘルメットに損傷を与え保護機能を低下させます。

《使いかた》

1. フロントシートを開けます。(76 ページ参照)
2. ヘルメットホルダワイヤを引き出してヘルメットの金具に通し、ヘルメットホルダにかけます。
3. フロントシートを閉め、完全にシートのロックがかかったかを確認してください。

《外しかた》

1. フロントシートを開けて、ヘルメットの金具からヘルメットホルダワイヤを抜き、ヘルメットを取外します。
2. 引き出したヘルメットホルダワイヤは、シートロックカバーに沿って差し込み、ホルダ部にセットします。



装備の使いかた

パーキングブレーキ

この車には、駐車時などに使用する、パーキングブレーキが装備されています。

《かけかた》

パーキングブレーキグリップを手前に引くと、後輪がロックします。

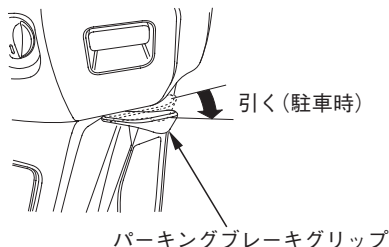
《外しかた》

パーキングブレーキグリップを一度手前に引いてから前方へ戻すと、後輪のロックは外れます。パーキングブレーキ警告灯が消灯しているか確認してから走行してください。

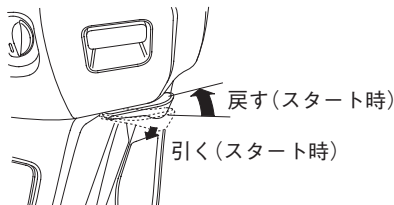
知 識

- パーキングブレーキをかけたまま走行しないでください。
ブレーキが過熱し効きが悪くなるおそれがあります。

《かけかた》



《外しかた》



スピーカーグリル

《FORZA X, FORZA Z, FORZA Z ABS》

スピーカーを格納するスペースです。
オーディオシステムを取付ける場合は、Honda販売店にご相談ください。

左コンソールボックス

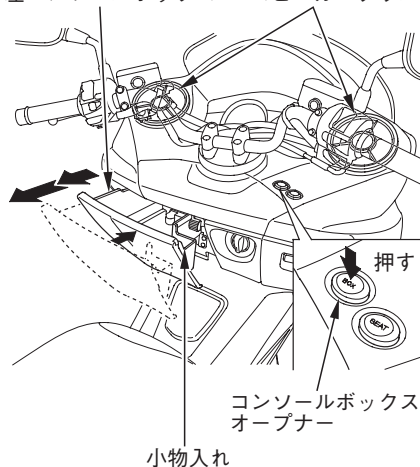
左コンソールボックスと右コンソールボックス
(83 ページ参照)内への荷物の積載は、合計で
1.5 kgまでです。

走行時は左コンソールボックスを閉じた状態にし、
走行中の開閉は、行わないでください。

《開けかた》

1. Honda スマート カード キーがONの状態で作動範囲内に入ります。
2. コンソールボックスオープナーを押すと、左コンソールボックスが少し手前に出ます。
3. 左コンソールボックスを前方に少し押すとさらに引き出せます。

左コンソールボックス スピーカーグリル

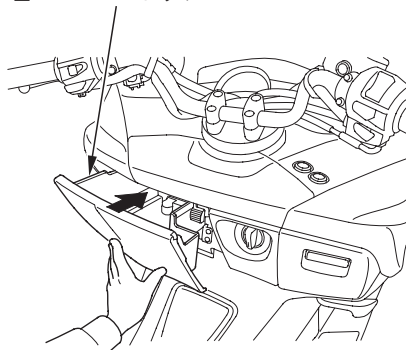


装備の使いかた

《閉じかた》

- ロックされるまで、左コンソールボックス下側を前方へ“カチッ”と音がするまで押し込みます。ボックスを手前に引いて確実にロックされているか確認してください。

左コンソールボックス



知 識

- 貴重品やこわれやすいものは入れないでください。
- 洗車時等、内部に水が入ることがあります。大切なものを入れる場合はご注意ください。
- カードキーやメカニカルキー、IDタグを左コンソールボックスに入れしないでください。カードキーやメカニカルキー、IDタグの閉じ込めやカードキーシステムが作動しないことがあります。
- 左コンソールボックス内の小物入れを灰皿代わりに使用しないでください。

右コンソールボックス

右コンソールボックスと左コンソールボックス（81 ページ参照）への荷物の積載は、合計で **1.5 kg** までです。

走行時は右コンソールボックスを閉じた状態にし、走行中の開閉は、行わないでください。

《開けかた》

ノブを手前に引いて右コンソールボックスを引き出します。

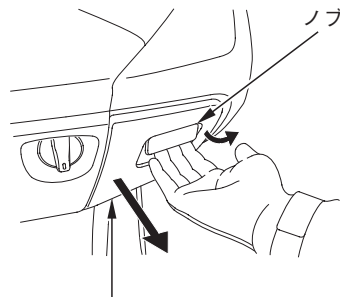
《閉じかた》

ロックされるまで、右コンソールボックスを押し込みます。

確実にロックされているか確認してください。

知 識

- カード キーは右コンソールボックスに入れないでください。
カード キーシステムが作動しないことがあります。
- 貴重品やこわれやすいものは入れないでください。
- 洗車時等、内部に水が入ることがあります。
大切なものを入れる場合はご注意ください。



右コンソールボックス

装備の使いかた

ラゲージボックス

フロントシートの下にラゲージボックスがあります。

フロントシートの開閉は、76 ページを参照してください。

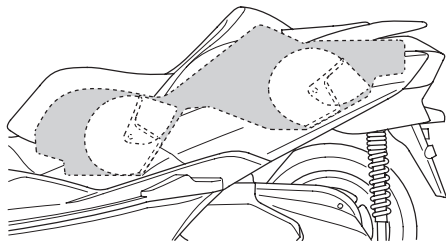
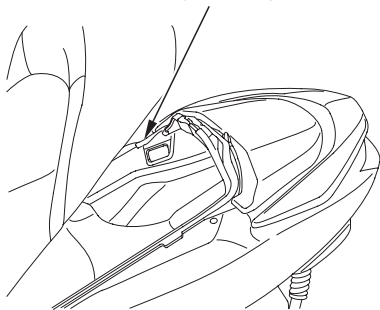
ラゲージボックス内への荷物の積載は**10.0 kg**までです。

ラゲージボックス内にヘルメットを2個収納することができます。

各ヘルメットをイラストのような向きで収納してください。

ヘルメットを誤った向きで収納すると、ヘルメットとフロントシートが干渉し、擦れや汚れが発生します。

ラゲージボックス



知 識

- カードキーやメカニカルキー、IDタグをラゲージボックスに入れないでください。
カードキーやメカニカルキー、IDタグの閉じ込めやカードキーシステムが作動しないことがあります。
- シートを閉めた後、完全にシートロックがかかったか確かめてください。
ロックをかけないで走行すると、走行に支障をきたすことがあります。
《FORZA Z, FORZA Z ABS, FORZA Z-Audio, FORZA Z ABS-Audio》
ラゲージランプスイッチが“ I ”(ON)の場合、ロックをかけないと、ラゲージランプが点灯したままになり、バッテリーあがりの原因になります。
- トランク内はエンジンの熱で温度が高くなります。熱の影響を受けやすい用品、食料品または可燃性のものは入れないでください。
- 貴重品やこわれやすいものは入れないでください。

知 識

- 洗車時等、内部に水が入ることがあります。
大切なものを入れる場合はご注意ください。
- ラゲージボックス内にはヘルメットの種類や形状、大きさなどにより、一部収納できない場合があります。

装備の使いかた

ラゲージランプ

《FORZA Z, FORZA Z ABS, FORZA Z-Audio, FORZA Z ABS-Audio》

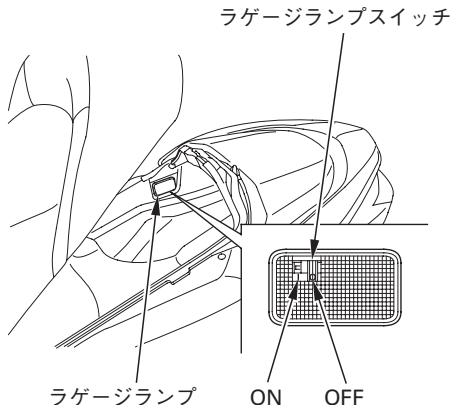
ラゲージボックス内にはラゲージランプがあります。

ラゲージランプスイッチを“ I ”(ON)の位置にすると、フロントシートを開けたときにラゲージランプが点灯します。ラゲージランプはメインスイッチノブの位置に関係なく、フロントシートが開いているときに点灯します。

ラゲージランプスイッチを“ O ”(OFF)の位置にすると、ラゲージランプは消灯したままになります。

知 識

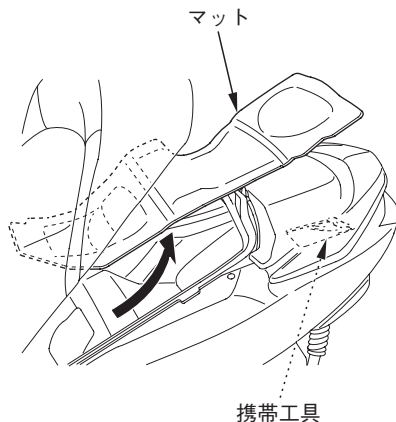
- フロントシートを閉めた後、完全にシートロックがかかったか確かめてください。ラゲージランプスイッチが“ I ”(ON)の場合、ロックをかけないと、ラゲージランプが点灯したままになり、バッテリーあがりの原因になります。



携帯工具入れ

ラゲージボックス内に携帯工具入れがあります。
工具を取出すときは、フロントシートを開け、マットを取外します。

- フロントシートの開けかたは、76ページを参照してください。
- 工具袋とラゲージボックスのマジックテープを合わせ、確実に固定してください。



装備の使いかた

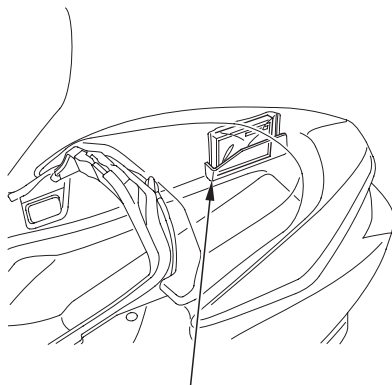
書類入れ

ラゲージボックス内に書類入れがあります。
取扱説明書やメンテナンスノートなどは、ビニール袋に入れ、ここに格納してください。

知 識

- 洗車時、シートの下から強く水をかけないでください。内部に水が入り書類等がぬれることがあります。
- カードキーやメカニカルキー、IDタグをラゲージボックス内の書類入れに入れないでください。

カードキーやメカニカルキー、IDタグの閉じ込めやカードキーシステムが作動しないことがあります。



書類入れ

メカニカルキー

カードキーの紛失や電池切れなどの緊急時またはメンテナンス時などにカードキーを使用することなく、シートロック・コンソールボックスロックを解除することができます。

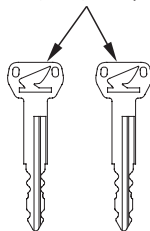
カードキーの電池切れや紛失時などを考慮して、メカニカルキーとIDタグはカードキーとは別に携帯してください。

メカニカルキーを紛失したときは、Honda販売店にご相談ください。

知 識

- メカニカルキーにはHonda スマート カードキーシステム機能はありません。
- メカニカルキーをラゲージボックスや左コンソールボックスに入れないでください。緊急時にシートロックやコンソールボックスロックの解除ができなくなり、メカニカルキーを取出せなくなります。

メカニカルキー



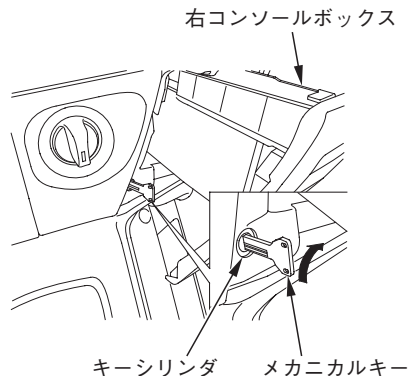
装備の使いかた

《シートロック・コンソールボックスロックの解除のしかた》

1. 右コンソールボックスを引き出します。
(83 ページ参照)
2. 右コンソールボックス内にあるキーシリンダにメカニカルキーを差し込みます。
3. メカニカルキーを時計回りに回すと、シートロック・コンソールボックスロックが同時に解除します。

知 識

- メカニカルキーでロック解除を行うと、フロントシートと左コンソールボックスが同時に開きます。
走行する前に確実に閉めてください。



リヤクッションの調整

リヤクッションの強さは、5段に調整できます。体重や路面の状態に応じて調整してください。

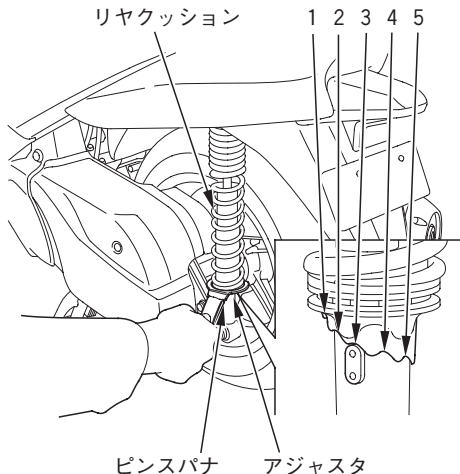
調整はピンスパナとホルダを使い、アジャスタを回して行います。

アジャスタの回転順序は、1→2→3→4→5または5→4→3→2→1で行います。

アジャスタを直接1から5または5から1に無理に回すとアジャスタが破損します。

“3”が標準の強さで、2～1は弱く、4～5と強くなります。

左右の強さは、必ず同じにしてください。



装備の使いかた

オーディオシステム

《FORZA X-Audio, FORZA Z-Audio,
FORZA Z ABS-Audio》

メインスイッチノブが“ON”の位置でオーディオシステムが使用できます。

メインスイッチノブが“OFF”の位置ではオーディオシステムは作動しません。

- ヘッドユニットでのスイッチ操作は停車時に行ってください。
- 音量は緊急車両のサイレン、他車のホーンなどの周囲の状況が常に確認できるレベルにしてください。
- アイドリング状態での長時間の使用は、近隣の迷惑になりますので、おやめください。
- オーディオシステムはエンジンを始動させない状態で使用すると、バッテリーが消耗しますので、必ずエンジン始動状態で使用してください。

電子部品の故障を防ぐため、取扱いには次のことをお守りください。

- スピーカーにキャッシュカードや定期券などの磁気を帯びたカード類を近づけないでください。
- オーディオシステムの分解や改造は行わないでください。
事故・火災・感電などの原因になります。
修理の際は、Honda販売店にご相談ください。

アドバイス

- オーディオシステムは防水設計となっていますが、水気は極力避けてください。

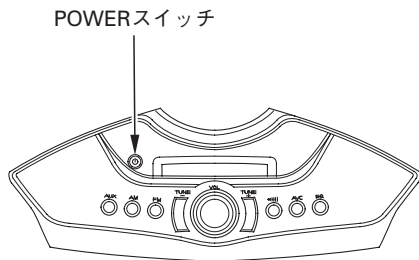
《ラジオについて》

ラジオの受信については車の走行にともない受信状況が刻々と変わったり、障害物や電車、信号機などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合があります。

装備の使いかた

《オーディオ電源の入れかた／切りかた》

メインスイッチノブが“ON”の状態ではPOWERスイッチを押すとオーディオ電源が入り、スイッチ部がアンバー色に光ります。再度POWERスイッチを押すとオーディオ電源が切れ、スイッチ部が緑色に光ります。



このオーディオシステムはオーディオの電源を切ると、以下の設定状態を自動的に記憶します。

- AVC (オートボリュームコントロール)、EQ (ヘルメットイコライザー) の音質設定
- 音量設定
- AUX (外部入力) や各ラジオモードの周波数 (およびセットしたお好みの放送局) での音声出力モード設定

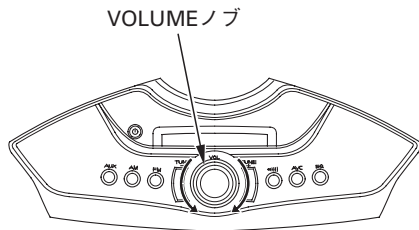
再度オーディオ電源を入れると、前回使用していた設定となります。

《音量調整のしかた》

音量はヘッドユニットまたはオーディオスイッチのVOLUMEノブで調整します。

ヘッドユニット

VOLUMEノブを右に回すと音量が増加し、左に回すと音量が減少します。

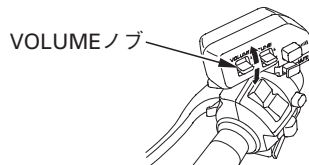


オーディオスイッチ

VOLUMEノブを上へ押すと音量が増加し、下へ押すと音量が減少します。

VOLUMEノブを1回ずつ上へ押す(下へ押す)と、音量が1レベルずつ変化します。

VOLUMEノブを上へ(下へ)押し続けると、音量が2レベルずつ変化します。



VOLUMEノブを操作するとディスプレイに音量を表示します。音量は0～30の間で調整できます。音量0は“—”で表示されます。



↑
音量表示

装備の使いかた

《FM/AM放送を聞くとき》

FM、AMスイッチを押すとラジオモードになります。

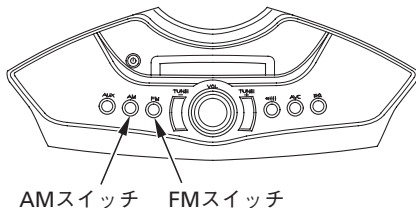
FMスイッチを押すとFM放送を受信します。

AMスイッチを押すとAM放送を受信します。

ディスプレイには選択した放送局を表示します。

知 識

- FMのステレオ放送で受信が弱くなると、モノラルに近い音になります。
- ステレオ放送の受信はFM放送のみです。AM放送はモノラル受信となります。



FM放送受信時



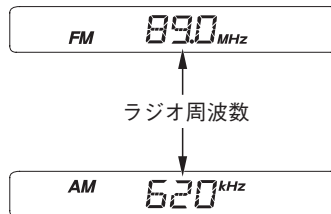
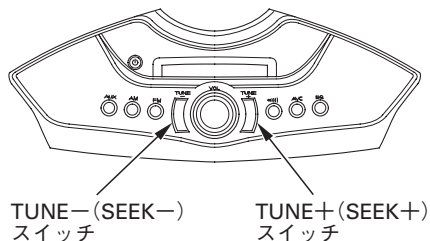
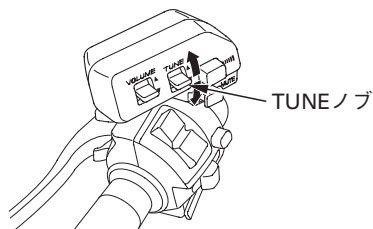
AM放送受信時



《ラジオの選局をするとき》

TUNE+, -(SEEK+, -)スイッチまたはTUNEノブの操作で選局します。

TUNE+ (SEEK+) スイッチを押すまたはTUNEノブを上を押すと周波数が上がり、TUNE- (SEEK-) スイッチを押すまたはTUNEノブを下を押すと周波数が下がります。



装備の使いかた

選局には手動選局と自動選局の二つの方法があります。

手動選局(TUNE)

TUNE+, -(SEEK+, -)スイッチを1回ずつ押す、またはTUNEノブを1回ずつ上へ(下へ)押すと、受信周波数がFM放送で0.1MHz、AM放送で9kHzずつ変わります。

自動選局(SEEK)

TUNE+, -(SEEK+, -)スイッチを押し続ける、またはTUNEノブを上へ(下へ)押し続けると、ディスプレイ上の周波数が早送り(早戻し)し、放送を受信すると止まります。受信できなかった場合は、周波数の上限(下限)まで進み、下限(上限)より再度自動選局を行います。

自動選局中にTUNE+, -(SEEK+, -)スイッチ、またはTUNEノブを操作すると自動選局を停止します。



知 識

- 受信電波が弱いときは、自動選局できないことがあります。このようなときは手動で選局してください。

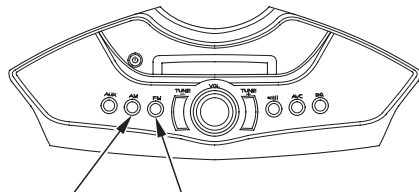
《お好みの放送局をセットするとき》

FM放送、AM放送それぞれ3局までセットできます。

あらかじめセットした放送局を呼び出すことができます。

セットのしかた

1. FM放送またはAM放送受信中にTUNE+、- (SEEK+、-)スイッチまたはTUNEノブで希望する放送局を探します。
2. FM局をセットするときはFMスイッチを、AM局をセットするときはAMスイッチを2秒以上押し続けます。



AMスイッチ FMスイッチ

3. ディスプレイに“P”の文字が表示され、放送局がセットされます。



セットした放送局が3局になっている状態で、さらに放送局をセットしようとすると、ディスプレイに“FULL”と表示されます。



この場合、セットした放送局の解除(次ページ参照)を行えば、新たにお好みの放送局をセットすることができます。

装備の使いかた

セットした放送局を呼び出すとき

お好みの放送局をセットした状態でFM局の場合はFMスイッチを、AM局の場合はAMスイッチを1回ずつ押します。

セットした放送局の解除のしかた

1. 解除したい放送局を表示させます。
2. FM局を解除したい場合はFMスイッチを、AM局を解除したい場合はAMスイッチを2秒以上押し続けます。
3. ディスプレイから“P”の表示が消えれば完了です。

《交通情報を聞くととき》

ヘッドユニットまたはオーディオスイッチの交通情報スイッチを押すと、あらかじめセットされた交通情報周波数を受信できます。

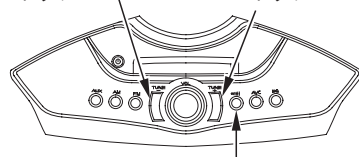
ディスプレイには“”と、交通情報周波数が表示されます。

解除するときは交通情報スイッチをもう一度押します。

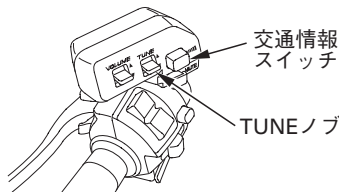
知 識

- セットされている交通情報周波数は、1620 kHzと1629kHzの2局です。

TUNE- (SEEK-) スイッチ TUNE+ (SEEK+) スイッチ



交通情報スイッチ



交通情報
スイッチ

TUNEノブ

“”表示

交通情報周波数



装備の使いかた

交通情報スイッチを押しても交通情報放送を受信できない状態が約10秒間続くと、自動でもう一方の放送局に切替える機能が装備されています。

セットされている交通情報放送の切替えは、TUNE+, -(SEEK+, -)スイッチまたはTUNEノブで行います。

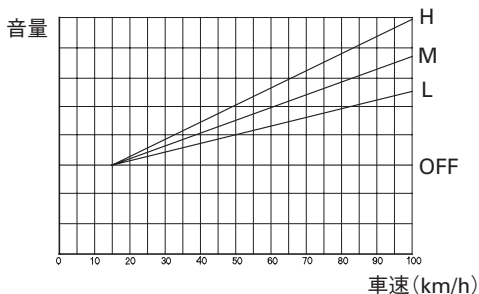
知 識

- 自動で切替えた放送局も受信できない状態が約10秒間続くと、最初に表示した放送局に戻ります。
- 交通情報の自動切替え中にTUNE+, -(SEEK+, -)スイッチやTUNEノブを操作したり、交通情報モード以外に切替えたり、交通情報放送を受信したときは、切替え動作を中止します。
- 交通情報の自動切替えは、他のモードから交通情報モードに移行した最初の1回のみ行います。

《AVC(オートボリュームコントロール)について》

車速が増すと自動的に音量が増加する機能が装備されています。

下の図は車速と音量の増加量を表しています。



L: 音量の増加量が少ない設定になります。

M: 音量の増加量が中間の設定になります。

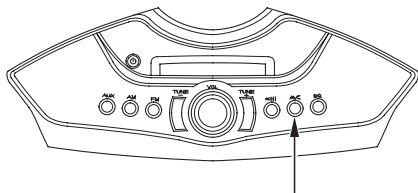
H: 音量の増加量が多い設定になります。

装備の使いかた

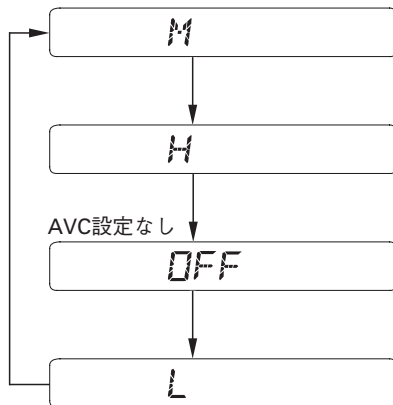
《AVC(オートボリュームコントロール)の使いかた》

AVCスイッチを押すと設定モードになり、OFF、L、M、Hのレベル選択ができます。

AVCスイッチを押すたびに表示が図のように切替わります。



AVC(オートボリュームコントロール)
スイッチ



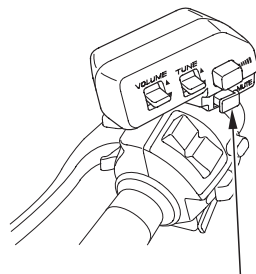
《MUTE(減音)の使いかた》

オーディオシステム使用中にMUTEスイッチを押すと音量が減少し、ディスプレイに“MUTE”を表示します。

スイッチをもう一度押すと音量がもとに戻り、ディスプレイの表示は消えます。

知 識

- メインスイッチノブを“OFF”にするかPOWERスイッチを“OFF”にする、またはヘッドユニットかオーディオスイッチのVOLUMEノブを操作してもMUTE機能は解除されます。



MUTE(減音)スイッチ



“MUTE”表示

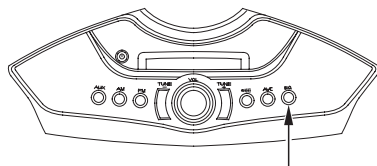
装備の使いかた

《EQ(ヘルメットイコライザー)スイッチの使いかた》

ヘルメットを被ったときに高音域が聞こえづらくなるのを補正する機能が装備されています。

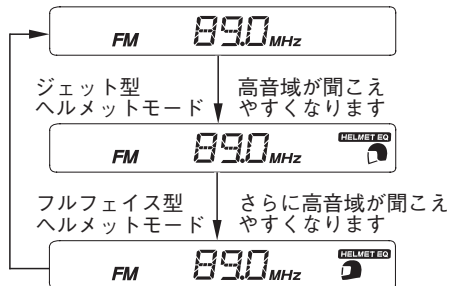
ヘルメットイコライザーには、ジェット型ヘルメット、フルフェイス型ヘルメットの2つのモードがあります。

EQ(ヘルメットイコライザー)スイッチを押すたびに表示が図のように切りかわります。
お好みに合ったモードで使用してください。



EQ(ヘルメットイコライザー)スイッチ

EQ(ヘルメットイコライザー)OFF



《AUX(外部入力)の使いかた》

AUX(外部入力)スイッチを押すとAUXモードになり、ディスプレイに“AUX”を表示します。

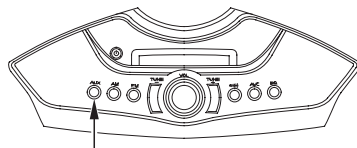
AUX接続端子に接続した外部のポータブルオーディオを聞くことができます。

AUX接続端子は左コンソールボックス内側の上部に、マジックテープで固定されています。左コンソールボックスの開けかたは81ページを参照してください。

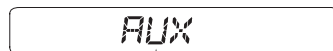
AUX接続端子の使用後は、必ずマジックテープで固定してください。

知 識

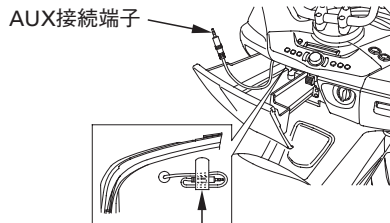
- 接続したポータブルオーディオの音量によっては、ノイズが発生したり音が歪むことがあります。VOLUMEノブで音量を調整しても音が歪むときは、接続したポータブルオーディオの音量を調整してください。



AUX(外部入力)スイッチ



“AUX”表示



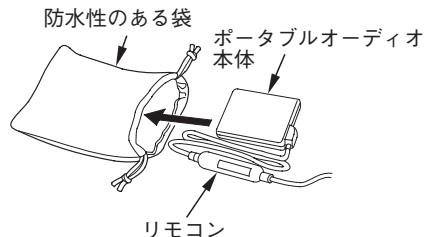
マジックテープ

装備の使いかた

《ポータブルオーディオの収納のしかた》

接続したポータブルオーディオは、衝撃が加わらないように走行に支障のない安定した場所に収納してください。ポータブルオーディオの種類によっては音飛びが発生することがありますので、クッション材などで保護してください。(接続したポータブルオーディオ本体だけでなく、リモコンなどの周辺機器も同様に保護してください。)また、接続したポータブルオーディオは濡れないようにしてください。

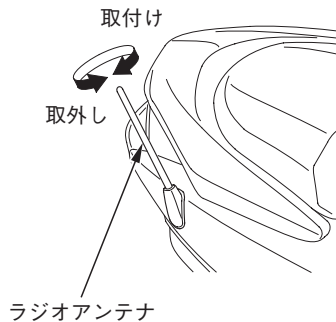
1. ポータブルオーディオをAUX接続端子に接続します。
2. ポータブルオーディオ本体やリモコンなどを防水性のある袋に入れ、左コンソールボックス内に収納します。



3. 走行中にポータブルオーディオが動かないように周囲をクッション材などで押さええます。

《ラジオアンテナの取外しかた》

ラジオアンテナは脱着が可能です。



装備の使いかた

故障と思われる前に

こんなときは、故障ではありません。Honda販売店に持ち込む前に次のことを調べてみましょう。
処置をしても症状が改善されない場合は、Honda販売店へご相談ください。

症状	確認してください	処置
スピーカーから音が出ない、音が小さい[AUX(外部入力)モード時]	POWERスイッチがOFFになっていませんか。(POWERスイッチが緑色に光っていませんか。)	POWERスイッチをONにしてください。
	VOLUMEレベルが最小になっていませんか。	VOLUMEノブで音量を上げてください。
	AUX(外部入力)接続端子が抜けかかっていませんか。	AUX(外部入力)接続端子を確実に接続してください。
	接続しているポータブルオーディオの音量が小さくなっていますか。	ポータブルオーディオの音量を上げてください。
	MUTE(減音)スイッチがONになっていませんか。	MUTE(減音)を解除してください。
	ヒューズが切れていませんか。	車のヒューズを交換してください。ヒューズを交換しても再びヒューズが切れるときは、Honda販売店へご相談ください。

症状	確認してください	処置
照明が光らない、ディスプレイ表示をしない、操作しても表示が変わらない	POWERスイッチがOFFになっていませんか。(POWERスイッチが緑色に光っていませんか。)	POWERスイッチをONにしてください。
	ヒューズが切れていませんか。	車のヒューズを交換してください。ヒューズを交換しても再びヒューズが切れるときは、Honda販売店へご相談ください。
左または右のスピーカーから音が出ない	AUX(外部入力)接続端子が抜けかかっていませんか。	AUX(外部入力)接続端子を確実に接続してください。

装備の使いかた

症状	確認してください	処置
音が割れる (歪む)	接続しているポータブルオーディオの音量が大きくなっていませんか。	ポータブルオーディオの音量を下げてください。
	接続しているポータブルオーディオが低音増強の機能を使用していませんか。	ポータブルオーディオの音量を下げてください。または、低音増強の機能を解除してください。
ノイズが入る	電波が発生している機器または設備が近くにありませんか。	電波が発生している機器を離してください。 電波が発生している設備付近でのご使用を避けてください。

症状	確認してください	処置
AVC (オートボリュウムコントロール) が作動しない	AVC (オートボリュウムコントロール) の設定が OFF になっていませんか。	AVC (オートボリュウムコントロール) の設定を OFF 以外にしてください。
EQ (ヘルメットイコライザー) が作動しない	EQ (ヘルメットイコライザー) の設定が OFF になっていませんか。	EQ (ヘルメットイコライザー) の設定を OFF 以外にしてください。
ラジオが聞こえない、ラジオの音が小さい	ラジオの電波が弱くないですか。	受信可能な周波数またはバンドに設定を変えてください。

燃料の補給

《使用燃料》

無鉛レギュラーガソリン

アドバイス

- 必ず無鉛ガソリンを補給してください。
補給するときは、無鉛ガソリンであることを確認してください。
有鉛ガソリンを補給すると、触媒装置などを損ないます。
- 高濃度アルコール含有燃料を補給すると、エンジンや燃料系などを損傷する原因となります。
- 軽油や粗悪ガソリン(長期間保管したガソリン)などを補給したり、不適切な燃料添加剤を使うと、エンジンなどに悪影響を与えます。

ガソリンの補給は、必ずエンジンを止め、火気厳禁で行ってください。

警告

ガソリンは、燃えやすくヤケドを負ったり、爆発して重大な傷害に至る可能性があります。

ガソリンを取扱う場合は、

- エンジンを止めてください。また、裸火、火花、熱源などの火元を遠ざけてください。
- 燃料補給は、必ず屋外で行ってください。
- こぼれたガソリンは、すぐに拭き取ってください。

身体に帯電した静電気の放電による火花により、気化したガソリンに引火し、ヤケドを負う可能性があります。

ガソリンを補給するときは、

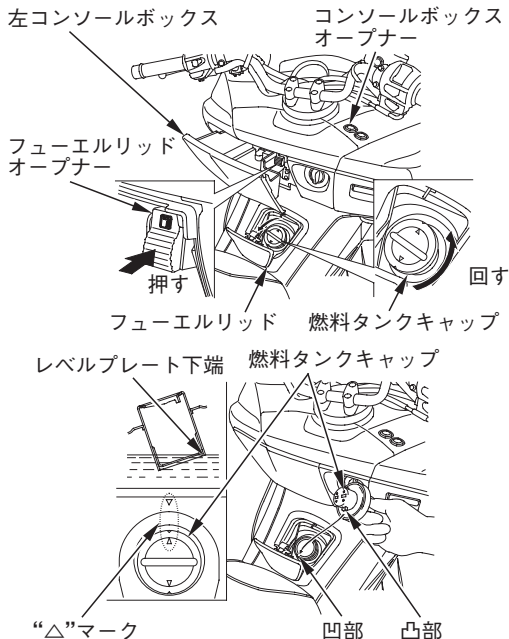
- 燃料タンクキャップを開ける前に車体や給油機などの金属部分に触れて身体の静電気を除去してください。
- 給油作業は静電気を除去した人のみで行ってください。

《補給のしかた》

1. Honda スマート カード キーがONの状態で作動範囲内に入ります。
2. コンソールボックスオープナーを押して、左コンソールボックスを開けます。
3. フューエルリッドオープナーの下側を押して、フューエルリッドを開けます。
4. 左コンソールボックスを閉じます。
5. 燃料タンクキャップを左に回して外します。
6. ガソリンを注入口の下側にあるレベルプレート下端まで入れます。

ガソリンをレベルプレート下端以上に入れると、燃料タンクキャップのブリーザ孔からガソリンがにじみ出ることがあります。

7. 燃料タンクキャップの凸部と燃料タンクの凹部を合わせ、キャップを取付け、右に回します。タンクキャップの“△”マークとキャップ下の“△”マークが合うところまで確実に回します。
8. フューエルリッドを閉じてロックします。



正しい運転操作

エンジンのかけかた

排気ガスには、一酸化炭素などの有害な成分が含まれています。エンジンは、風通しの良い場所でかけてください。

エンジン始動は、118 - 120 ページの「始動手順」に従って行ってください。

- エンジンをかける前に、オイル、ガソリンなどの点検をしましたか。
必ず点検を行ってください。
(日常点検は、137ページ参照)
- エンジンをかけるときは、必ずメインスタンドを立ててください。
- 急な飛び出しを防ぐために始動時は、必ず左ブレーキレバーを強く握った状態で行ってください。
- 左ブレーキレバーを強く握った状態でないとスタータモータは回転しません。

アドバイス

- スタータスイッチを押して5秒以内にエンジンがかからないときは、一度メインスイッチノブを“OFF”に戻して10秒以上待ってから再始動してください。
これはバッテリー電圧を回復させるためです。
- 無用の空ぶかしや長時間の暖機運転はしないでください。ガソリンの無駄使いになるばかりでなく、エンジン等に悪影響を与えます。

知 識

- この車には、サイドスタンドを出したままではエンジンがかからないイグニッションカットオフ式サイドスタンドを採用しています。エンジンをかける前に、必ずサイドスタンドを格納してください。
また、エンジンがかかっているときにサイドスタンドを使用すると、エンジンが止まります。サイドスタンドは、エンジンを止めてから使用してください。
- エンジンをかけるときには、スロットルを全開にしないでください。
スロットルを全開にしてエンジンを始動しようとする、PGM-FIユニットが燃料の供給を停止します。
- この車は、転倒したとき、自動的にエンジンを停止するシステムが装備されています。
エンジンを再始動するときは、システムの作動を解除するためにメインスイッチノブを一度“OFF”にしてください。

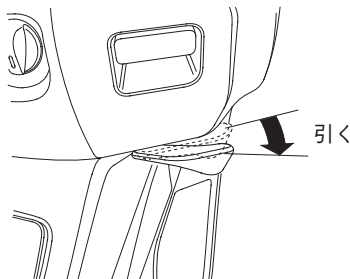
正しい運転操作

《始動手順》

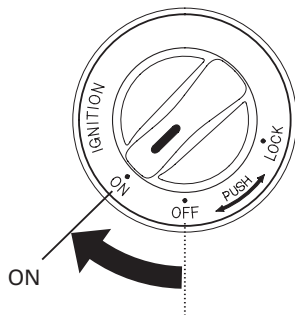
この車にはオートチョークが装備されていますのでエンジンが冷えているとき、暖まっているときにかかわらず以下の始動手順に従ってください。

- ② エンジンストップスイッチが“○”(RUN)になっていることを確認します。

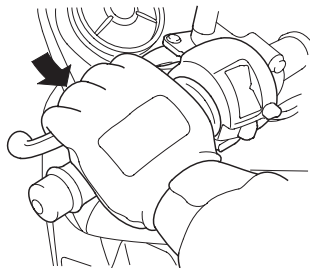
- ① パーキングブレーキグリップを手前に引き、後輪をロックします。(80 ページ参照)



- 3 Honda スマート カード キーを携帯した状態で、メインスイッチノブを押してから“ON”にします。



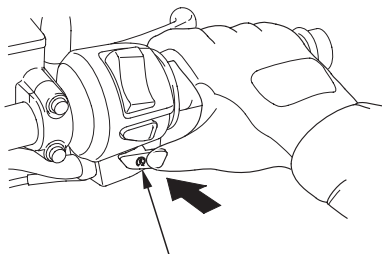
- 4 左ブレーキレバーを強く握ります。



正しい運転操作

- ⑤ スロットルグリップを回さずに、スタータスイッチを押します。

エンジンがかかったらすぐに、スタータスイッチから手をはなしてください。



スタータスイッチ

- 長時間ご使用にならなかった場合や、ガス欠をしたときにガソリンを補給してもエンジンがかかりにくいことがあります。このようなときは、スロットルグリップを回さずにスタータスイッチを普段より多目に使用してください。

知識

- エンジンが回転しているときスタータスイッチを押さないでください。エンジンに悪影響を与えます。

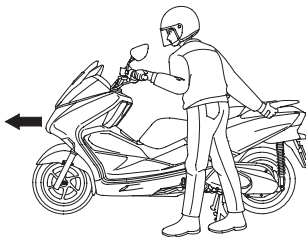
スタートするとき

① メインスタンドを外します。

- パーキングブレーキをかけたままで、車を前に押し、メインスタンドを外してください。

エンジンをかけてから水温計の指針が上がりだすまでは、エンジンの回転をむやみにあげないでください。

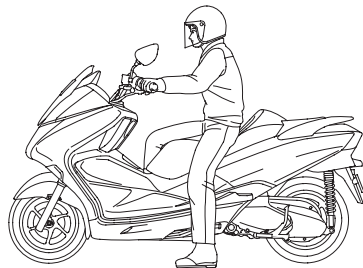
乗車する前に、サイドスタンド、メインスタンドは完全に納まっているか確認してください。



② 乗車します。

- 車の左側から乗車し、シートにしっかりと腰をおろします。このとき足を地面につけて、倒れないようにしてください。

乗車してスタートするまではパーキングブレーキはかけたままにしておいてください。

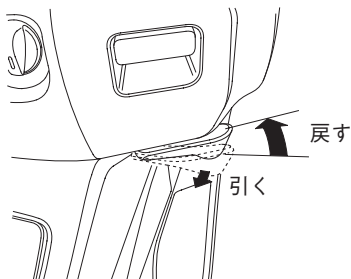


正しい運転操作

③ パーキングブレーキを外します。

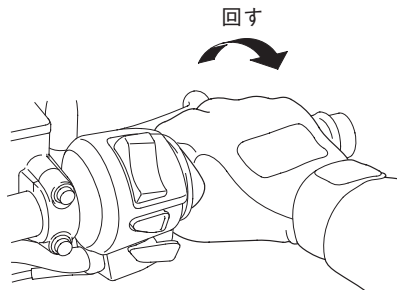
パーキングブレーキを外すときは、左ブレーキレバーをにぎってください。

左ブレーキレバーを離すときは、スロットルグリップをまわさないでください。飛び出しなどの危険性があります。



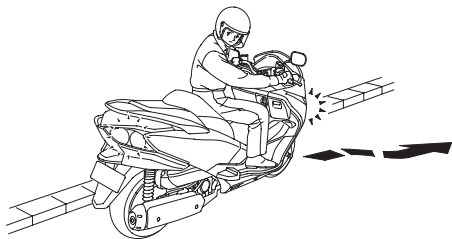
④ スロットルグリップをゆっくり回せば車は走り出します。

スロットルグリップをいきなり手前に回すと急加速して危険です。



正しい走りかた

スタート前に方向指示器スイッチで合図を出し、
後方の安全を確認してからスタートしましょう。



速度調整は、スロットルグリップで行います。

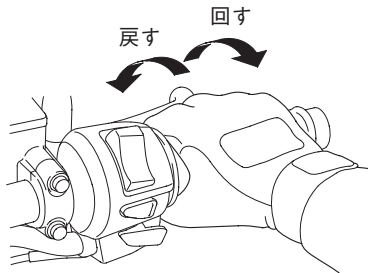
回す……速度が速くなる。

ゆっくり回しましょう。

登り坂ではスロットルグリップを徐々に
回して力をつけましょう。

戻す……速度が遅くなる。

すばやく戻しましょう。



正しい運転操作

Honda S マチックでの走行

《FORZA Z, FORZA Z ABS, FORZA Z-Audio,
FORZA Z ABS-Audio》

オートマチックモードでの走行

スロットルグリップの開き具合と走行速度に応じて、自動的に変速を行います。

走行状況に応じて、Dモード・Sモードの切り換えをハンドル左側にあるシフトスイッチで行います。

登り坂走行の際、坂の勾配に応じてSモードに切り換えることで、より力強い走行ができます。

7速オートシフトモードでの走行

スロットルグリップの開き具合、走行速度、エンジンの回転数などに応じて1速～7速の変速段が自動的に選択されます。

7速マニュアルモードでの走行

シフトスイッチ操作によって任意に1速～7速の変速段が選択できます。

登り坂走行の際、坂の勾配に応じて変速段を一段落とすことで、より力強い走行ができます。

《シフトアップのしかた》

ハンドル左側にあるシフトスイッチ(+側)を押してシフトアップを行います。

7速マニュアルモードでは自動的にシフトアップしません。エンジン回転数がレッドゾーンに入らないようにシフトアップを行ってください。

《シフトダウンのしかた》

ハンドル左側にあるシフトスイッチ(－側)を押してシフトダウンを行います。

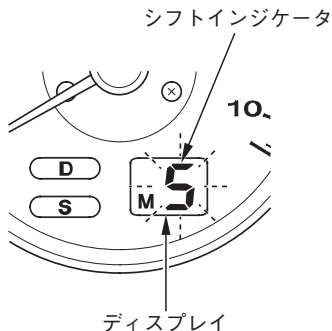
追い越しするときなど、強力な加速が必要なときは、シフトダウンをすると加速力が得られます。

なお7速マニュアルモードでは、低速になると自動でシフトダウンを行います。

正しい運転操作

《シフト制限》

7速マニュアルモードでのシフト操作時において、走行装置に支障をきたすと判断した場合、もしくはエンジン回転数がレブリミットを超えると判断した場合はディスプレイ内のシフトインジケータが点滅してシフト操作が行えません。



🏍️ アドバイス

- 走行中に異音や異常を感じたときは、ただちにHonda販売店で調べましょう。
- 滑りやすい路面では、シフトダウンする際にタイヤのスリップを招くことがありますので十分注意してください。

🎓 知識

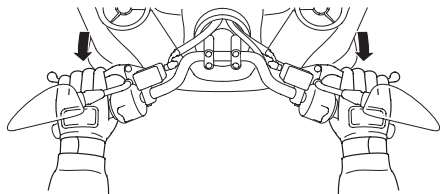
- 発進は、できるだけ静かに行いましょう。
- 法定速度を守って走りましょう。

ブレーキの使いかた

ブレーキは、右ブレーキレバーと左ブレーキレバーを同時に使いましょう。制動力を効果的に得るためには、右ブレーキレバーと左ブレーキレバーを同時に使う必要があります。

- スロットルグリップを戻してから、ブレーキレバーを握りましょう。
- “はじめやんわり、あときつく”がブレーキの上手なかけかたです。

走行中は、パーキングブレーキグリップを操作しないでください。ブレーキがロックされ危険です。

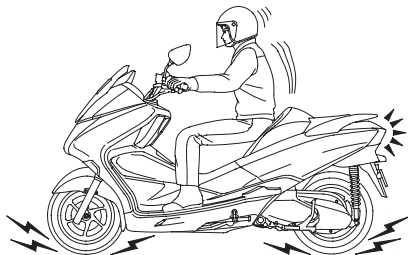


左ブレーキレバー

右ブレーキレバー

不必要な急ブレーキは避けましょう。急激なブレーキ操作は、タイヤをロックさせ車体の安定性を損なうおそれがあります。

- 雨天走行や路面が濡れている場合、タイヤがロックしやすく、制動距離が長くなります。スピードを落として、余裕をもったブレーキ操作をしてください。



正しい運転操作

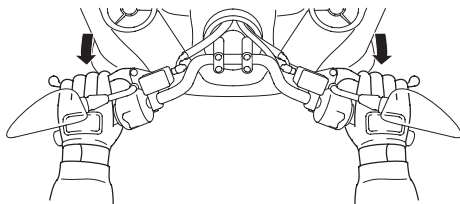
雨の日は、とくに慎重に走りましょう。

- 雨の日や路面がぬれているところでは、晴天時よりブレーキ停止距離が長くなります。速度を落として走り、早めにブレーキをかけるなど余裕をもって操作しましょう。
- 下り坂では、スロットルグリップを戻して速度に応じてブレーキをかけながらゆっくり走りましょう。
- 連続的なブレーキ操作は、ブレーキ部の温度上昇の原因となり、ブレーキの効きが悪くなるおそれがありますので避けてください。
- 水たまりを走行した後や雨天走行時には、ブレーキの効き具合が悪くなることがあります。水たまりを走行した後などは、安全な場所で周囲の交通事情に十分注意し、低速で走行しながらブレーキを軽く作動させて、ブレーキの効き具合を確認してください。もし、ブレーキの効きが悪いときは、ブレーキを軽く作動させながらしばらく低速で走行して、ブレーキのしめりを乾かしてください。
- 雪道や凍った道はすべりやすいので十分に気をつけて、ゆっくり走りましょう。

止まりかた

① 止まる地点が近づいたら、

- 早めに方向指示器スイッチで合図を出し、後方や側方の車に注意し、徐々に左に寄りましょう。
- スロットルグリップを戻して、早めに左・右のブレーキレバーを引きブレーキをかけましょう。制動灯(ストップランプ)が点灯し、後車への合図になります。



左ブレーキレバー

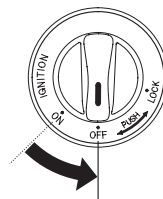
右ブレーキレバー

② 完全に車が止まったら、

- 方向指示器スイッチを戻し、メインスイッチノブを“OFF”の位置にしてエンジンを止めます。

走行中はメインスイッチノブを操作しないでください。

メインスイッチノブを“OFF”や“LOCK”の位置にすると電気系統は作動しません。走行中にメインスイッチノブを操作すると思わぬ事故につながるおそれがありますので必ず停車してから操作してください。



OFF

正しい運転操作

③ 左側におりて、平らな場所でスタンドを立てましょう。

- 交通のじゃまにならない平坦で足場のしっかりした場所を選び、スタンドを立てましょう。不安定な場所では車が倒れることがあります。
- メインスタンドを使用する場合は、左手でハンドルをまっすぐにして、右手でグラブレールをしっかりと持ち右足でスタンドを左右同時に地面につけて、立てましょう。



④ 盗難予防のため、駐車するときは必ずハンドルロックをかけ(75 ページ参照)、Honda スマートカードキーを携帯した状態で離れましょう。このとき必ずすべての方向指示器が2回点滅したことを確認してください。チェーンロック等のご使用もおすすめします。

交通のじゃまにならない安全な場所を選んで駐車しましょう。

慣らし運転を行いましょう。

適切な慣らし運転を行うと、その後のお車の性能を良い状態に保つことができます。

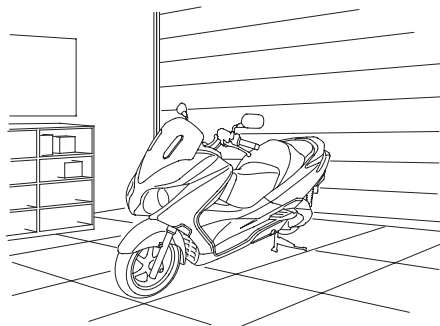
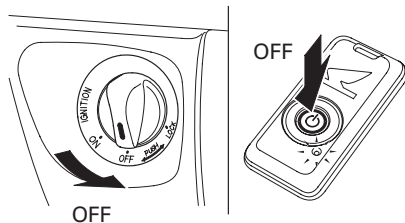
この車は乗り始めてから500 kmを走行するまでは急発進、急加速を避け控えめな運転をしてください。

—メモ—

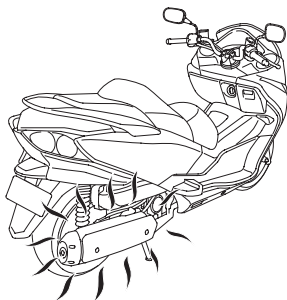
メンテナンスを安全に行うために

- 整備はメインスイッチノブを“OFF”にしてエンジンを停止し、Honda スマート カード キーシステムをOFFにした状態で行ってください。
- 場所は、平坦地で足場のしっかりした所を選び、スタンドを立てて行ってください。

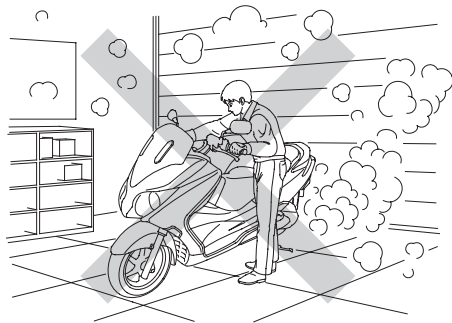
Honda スマート カード キーシステムの切換えについては、27 ページを参照してください。



- エンジン停止直後のメンテナンスは、エンジン本体、マフラやエキゾーストパイプなどが熱くなっています。ヤケドにご注意ください。

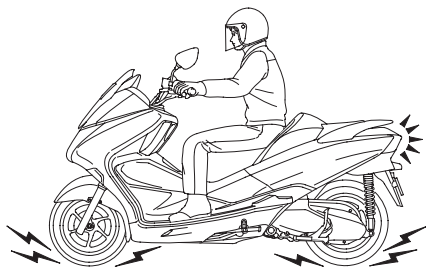


- 排気ガスには、一酸化炭素などの有害な成分が含まれています。しめきったガレージの中や、風通しの悪い場所でエンジンをかけての点検はやめてください。



メンテナンスを安全に行うために

- 走行して点検する必要があるときは、安全な場所で周囲の交通事情に十分注意して行ってください。
- メンテナンスに工具を必要とするときは、適切な工具を使用してください。



日常点検、定期点検、簡単なメンテナンス

お車をご使用の方の安全と車を快適にご使用いただくために、日常のお車の使用状況に応じて、お客様の判断で適時行っていただく日常点検と、1年毎(12か月毎)、2年毎(24か月毎)の定期点検整備が義務づけられています。

安全快適にお乗りいただくために、必ず実施してください。

警告

点検整備の方法を正しく行わないことや、不適当な整備、未修理は、転倒事故などを起こす原因となり、死亡または重大な傷害に至る可能性があります。

- 点検整備は、取扱説明書・メンテナンスノートに記載された点検方法・要領を守り、必ず実施してください。
- 異状箇所は乗車前に修理してください。

各点検、メンテナンス等については、以下のページをご覧ください。

1 か月目点検について	136
交換部品について	136
日常点検	137
メンテナンス部品配置図	138
定期点検	140
簡単なメンテナンス	141
ブレーキ	142
パーキングブレーキ	146
タイヤ	147
エンジンオイル	151
冷却水	156
バッテリー	159
ヒューズ	163
ファイナルギヤオイル	165
エアクリーナ	168
ケーブル・ワイヤ類	173
ブリーザドレン	174

日常点検、定期点検、簡単なメンテナンス

1 か月目点検について

新車から 1 か月目(または、1,000 km時)は、特に初期の点検整備が車の寿命に影響することを重視し、点検を無料でお取扱いいたします。

お買いあげのHonda販売店で行ってください。

他の販売店にてお受けになると有料となる場合があります。

また、オイル代、消耗部品代および交換工賃等は実費をいただきます。

詳細については、別冊「メンテナンスノート」をご覧ください。

交換部品について

点検整備の結果、部品の交換が必要となった場合は、あなたのお車に最適な“Honda純正部品”をご使用ください。

純正部品は、厳しい検査を実施し、Honda車に適合するように作られています。

お求めは、Honda販売店にご相談ください。

純正部品には、次のマークがついています。

純正部品マーク

HONDA

GENUINE PARTS

日常点検

日常点検

安全快適にご使用いただくために法令にしたがって、日常のお車の使用状況に応じて、お客様の判断で適時行う点検です。

点検時期の目安としては、長距離走行や洗車時、給油時などに実施し、その結果をメンテナンスレコードに記入してください。

この車に適用される点検項目は、右記「日常点検項目」です。

下線のついている項目については、「簡単なメンテナンス」に説明があります。141 ページ以後を参照してください。

また、点検項目の部位を次ページの「メンテナンス部品配置図」で示します。参照してください。

点検方法・要領は、別冊「メンテナンスノート」をご覧ください。

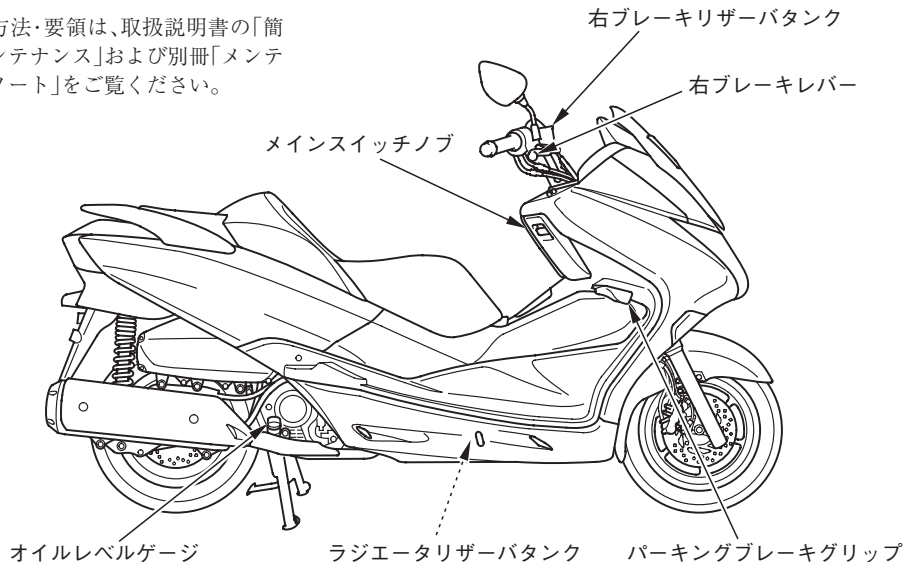
日常点検項目

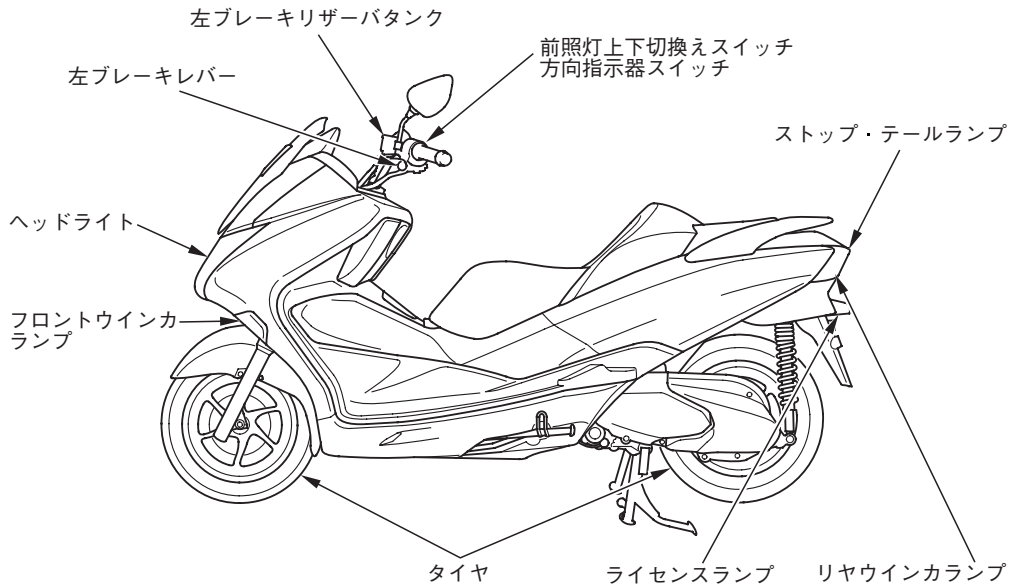
- ブレーキ
 - ・ レバーの遊び(油圧式)
 - ・ ブレーキの効き具合
 - ・ ブレーキ液の量
- タイヤ
 - ・ 空気圧
 - ・ 亀裂、損傷
 - ・ 異状な摩耗
 - ・ 溝の深さ
- エンジン
 - ・ 冷却水の量
 - ・ エンジンオイルの量
 - ・ かかり具合、異音
 - ・ 低速、加速の状態
- 灯火装置及び方向指示器
- 運行において異状が認められた箇所

日常点検

メンテナンス部品配置図

点検の方法・要領は、取扱説明書の「簡単なメンテナンス」および別冊「メンテナンスノート」をご覧ください。





定期点検

定期点検

定期点検は、道路運送車両法で定められた1年毎(12か月毎)、2年毎(24か月毎)の点検と、使い始めてから1か月目(または、1,000 km時)に行う点検があります。

また、これらの点検項目のほかにHondaが指定する点検整備項目もあります。

安全快適にお車をご使用いただくために、点検整備を必ず実施してください。

点検整備の実施は、お客様の責任です。これは、ご自身で行う場合も、他に依頼する場合も同様です。

- ご自身で実施できない場合は、Honda販売店にご相談ください。
- ご自身で実施する場合は、安全のためご自分の知識と技量に合わせた範囲内で行ってください。難しいと思われる内容については、Honda販売店にご相談ください。

点検整備のデータは、196 ページのサービスデータを参照してください。

点検結果は、別冊「メンテナンスノート」の定期点検整備記録簿に記入し、大切に保存、携行してください。

簡単なメンテナンス

簡単なメンテナンス

ここでは、通常行われることが多い簡単なメンテナンス（点検整備）について説明しています。

ご自身の知識、技量に合わせた範囲内で、適切な工具を使用し、メンテナンスを行ってください。
安全のため、技量や作業に必要な工具をお持ちでない場合は、Honda販売店にご相談ください。

簡単なメンテナンス

ブレーキ

右ブレーキレバー

《ブレーキ液の量の点検》

平坦地でスタンドを立て、ハンドルを動かし、リザーバタンクキャップ上面を水平にします。
液面が下限(LOWER)以上にあることを確認してください。

液面が下限以下の場合はブレーキパッドの摩耗が考えられます。パッドの摩耗の点検を行ってください。(次ページ参照)

ブレーキパッドが摩耗していない場合は、ブレーキ系統の液漏れが考えられます。
異状箇所の修理やブレーキ液の補充はHonda販売店にご相談ください。

指定ブレーキ液

Honda純正ブレーキフルード DOT 4

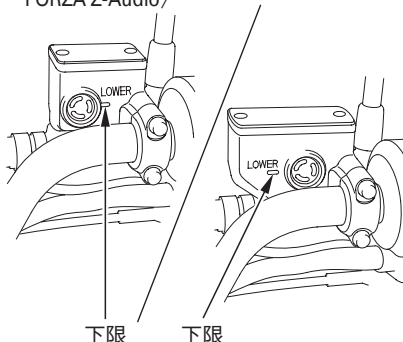


アドバイス

- 銘柄の異なるブレーキ液を使用しないでください。
銘柄の異なるブレーキ液を使用すると、ブレーキ液が変質したりブレーキ装置の故障の原因となることがあります。

〈FORZA X, FORZA Z,
FORZA X-Audio,
FORZA Z-Audio〉

〈FORZA Z ABS,
FORZA Z ABS-Audio〉



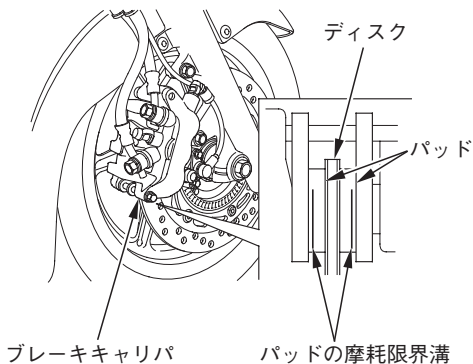
《ブレーキパッドの摩耗の点検》

ブレーキキャリパの下側からのぞいて、パッドの摩耗限界溝がなくなったら、パッドの摩耗限界です。

摩耗限界に達したら、ブレーキパッドを左右同時に交換してください。

ブレーキパッドの交換は、Honda販売店にご相談ください。

[前輪]



簡単なメンテナンス

左ブレーキレバー

《ブレーキ液の量の点検》

平坦地でスタンドを立て、ハンドルを動かし、リザーバタンクキャップ上面を水平にします。

液面が下限(LOWER)以上にあることを確認してください。

液面が下限以下の場合はブレーキパッドの摩耗が考えられます。パッドの摩耗の点検を行ってください。(次ページ参照)

ブレーキパッドが摩耗していない場合は、ブレーキ系統の液漏れが考えられます。

異状箇所の修理やブレーキ液の補充はHonda販売店にご相談ください。

指定ブレーキ液

Honda純正ブレーキフルード DOT 4



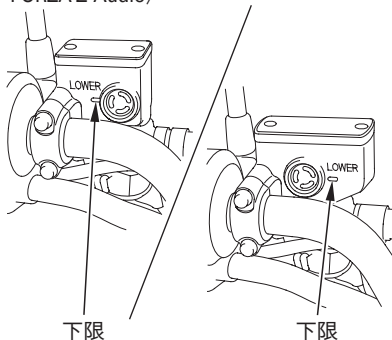
アドバイス

- 銘柄の異なるブレーキ液を使用しないでください。

銘柄の異なるブレーキ液を使用すると、ブレーキ液が変質したりブレーキ装置の故障の原因となることがあります。

〈FORZA X, FORZA Z,
FORZA X-Audio,
FORZA Z-Audio〉

〈FORZA Z ABS,
FORZA Z ABS-Audio〉



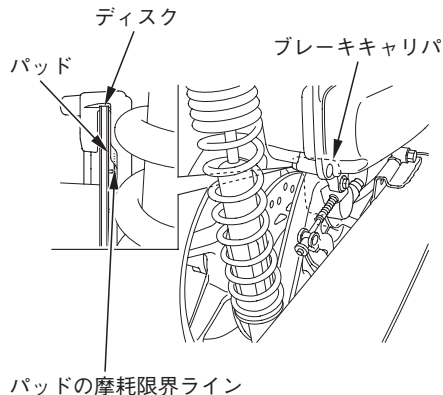
《ブレーキパッドの摩耗の点検》

ブレーキキャリパの後側からのぞいて、パッドの摩耗限界ラインがブレーキディスクの側面に達したら、パッドの摩耗限界です。

摩耗限界に達したら、ブレーキパッドを左右同時に交換してください。

ブレーキパッドの交換は、Honda販売店にご相談ください。

[後輪]



簡単なメンテナンス

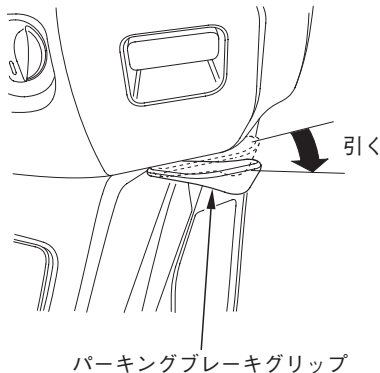
パーキングブレーキ

《パーキングブレーキの点検》

(Honda指定1年点検整備項目)

パーキングブレーキグリップをいっぱい引いた状態で車を押し、パーキングブレーキの効きが十分であるか確認します。

パーキングブレーキの効きが不十分なときは、Honda販売店にご相談ください。



タイヤ

車を安全に運転するには、タイヤを良い状態に保つことが必要です。

常に適正な空気圧を保ってください。

また、規定の数値を超えてすり減ったタイヤは、使用せず交換してください。



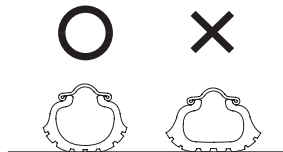
過度にすり減ったタイヤの使用や、不適正な空気圧での運転は、転倒事故などを起こす原因となり、死亡または重大な傷害に至る可能性があります。

取扱説明書に記載されたタイヤの空気圧を守り、規定の数値を超えてすり減ったタイヤは交換してください。

《空気圧の点検》

タイヤの接地部のたわみ状態を見て、空気圧が適当であるかを点検します。

タイヤ接地部のたわみ状態が異状な場合は、タイヤが冷えている状態でタイヤゲージを使用し、適正な空気圧に調整してください。



簡単なメンテナンス

タイヤの空気圧は徐々に低下します。また、タイヤによっては空気圧不足が見た目ではわかりづらいものもあるため、少なくとも一ヵ月に一度はタイヤゲージを使用して空気圧の点検を行ってください。

走行後のタイヤが温まっている状態ではタイヤの空気圧は高くなることがありますので、必ず冷えた状態で調整してください。

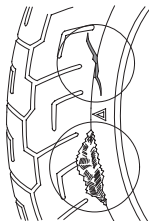
タイヤの空気圧

1 人乗車時	前輪	175 kPa (1.75 kgf/cm ²)
	後輪	200 kPa (2.00 kgf/cm ²)
2 人乗車時	前輪	175 kPa (1.75 kgf/cm ²)
	後輪	225 kPa (2.25 kgf/cm ²)

《亀裂と損傷の点検》

タイヤの全周に亀裂や損傷及び釘、石、その他の異物が刺さったり、かみ込んだりしていないかを点検します。

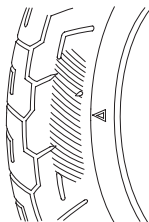
道路の縁石等にタイヤ側面を接触させたり、大きな凹みや突起物を乗り越えた時は、必ず点検してください。



《異状な摩耗の点検》

タイヤの接地面が異状に摩耗していないかを点検します。

タイヤの状態が異状な場合は、Honda販売店にご相談ください。



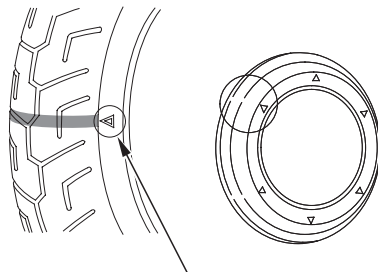
《溝の深さの点検》

溝の深さに不足がないかをウェアインジケータ（スリップサイン）により確認します。

ウェアインジケータがあらわれたときは、ただちに交換してください。

また、安全な走行のためトレッド中央部の溝の深さが次の数値になったときは交換してください。

前輪 1.5 mm 後輪 2.0 mm



ウェアインジケータ
表示マーク

簡単なメンテナンス

《交換タイヤの選択について》

タイヤを交換するときは、必ず指定タイヤを使用してください。

指定以外のタイヤは、操縦性や走行安定性に悪影響を与えることがありますので使用しないでください。

タイヤの交換は、Honda販売店にご相談ください。



警告

指定以外のタイヤを取付けると、操縦性や走行安定性に悪影響を与えることがあります。そのことが原因で転倒事故などを起こし、死亡または重大な傷害に至る可能性があります。

タイヤ交換時には、必ず取扱説明書に記載された指定タイヤを取付けてください。

指定タイヤ

前 輪	サイズ	110/90-13M/C 55P		
	タイプ	ブリヂストン	HOOP B03 E	チューブレス
		ダンロップ	SX01F JC	チューブレス
後 輪	サイズ	140/70-13M/C 61P		
	タイプ	ブリヂストン	HOOP B02 E	チューブレス
		ダンロップ	SX01	チューブレス

エンジンオイル

エンジンの性能を維持するためには、定期的なエンジンオイルの点検・補給が必要です。

汚れたオイルや古くなったオイルは、エンジンに悪影響を与えますので、早めに交換してください。エンジン停止直後のメンテナンスは、エンジン本体、マフラやエキゾーストパイプなどが熱くなっています。ヤケドにご注意ください。

《オイル量の点検》

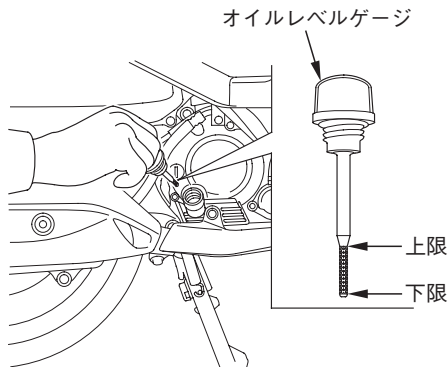
1. 平坦地でメインスタンドを立て、エンジンを3～5分間アイドリングさせます。
2. エンジン停止2～3分後にオイルレベルゲージを外します。
3. 布等でオイルレベルゲージについたオイルを拭きます。
4. オイルレベルゲージをねじ込まず差し込みます。

5. オイルがオイルレベルゲージの上限と下限の間にあることを確認します。

オイル量が下限に近かったら、上限まで補給します。

エンジンオイルの補給は、155 ページ参照。

6. オイルレベルゲージを確実に取付けます。



簡単なメンテナンス

《オイルの補給》

推奨オイル

Honda純正オイル(4サイクル二輪車用)

	J A S O T 903規格	S A E 規格	A P I 分類
ウルトラ E 1	M B	10W—30	S L 級

相当品をご使用の場合

オイル容器の表示を確認し、下記のすべての規格を満たしているオイルをお選びください。

- JASO T 903 規格(二輪車用オイル規格):MB
- SAE規格:外気温に応じ154ページの表から選択
- API分類:SG、SH、SJ、SL 級相当

相当品がすべての規格を満たしている場合でも特性が異なりこの車に適合しない場合があります。



アドバイス

- 銘柄やグレードの異なるオイルを混用しないでください。また、低品質オイルや高品質オイルでもこの車に適合しないオイルは、使用しないでください。

オイルが変質したり、適合しないため、この車本来の性能が発揮できないばかりでなく、エンジンの故障や損傷の原因となります。

アドバイス

- API規格マークの入っている相当品を使用する場合、エナジーコンサービングを取得したオイルには摩擦係数の低いものがあり推奨しません。



推奨しません



推奨します

知識

- JASO T 903規格とは4サイクルエンジンオイルの性能を分類する規格です。なお、規格に適合し届け出されたオイルの容器には、次の表示があります。



上段: オイル販売会社の
整理番号

下段: 性能分類の表示
MB性能であることを
示しています

JASO T 903 適合品

本MB性能の品質保証者

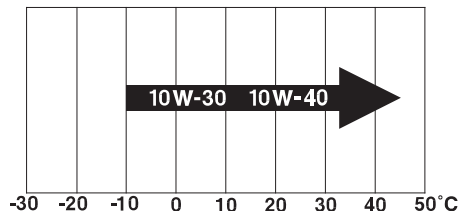
本田技研工業株式会社

簡単なメンテナンス

外気温と粘度との関係

エンジンオイルは、外気温に応じた粘度のものを
下表にもとづきお使いください。

(S A E 規格)



(外気温)

交換時期

初回:1,000 kmまたは1 か月

以後:6,000 kmまたは1 年ごと

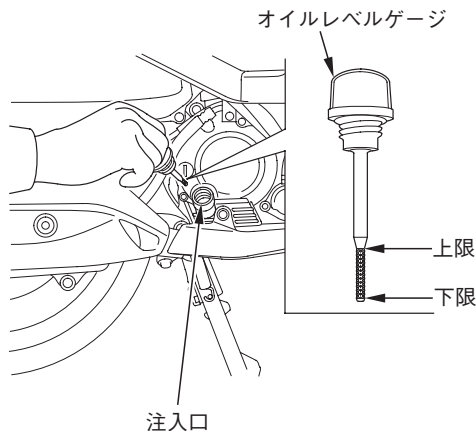
エンジンオイルの交換は、Honda販売店にご相談
ください。

補給のしかた

1. 平坦地でメインスタンドを立て、エンジンを3～5分間アイドリングさせます。
2. エンジン停止2～3分後にオイルレベルゲージを外します。
3. 布等でオイルレベルゲージに付いたオイルを拭きます。
4. オイルレベルゲージでオイル量を確認しながら、注入口よりオイルをオイルレベルゲージの上限まで補給します。

補給するときは、オイル注入口からごみなどが入らないようにしてください。また、オイルをこぼしたときは完全に拭き取ってください。

5. オイルレベルゲージを確実に取付けます。



🛵 アドバイス

- オイルは規定量より多くても少なくても、エンジンに悪影響を与えます。

簡単なメンテナンス

冷却水

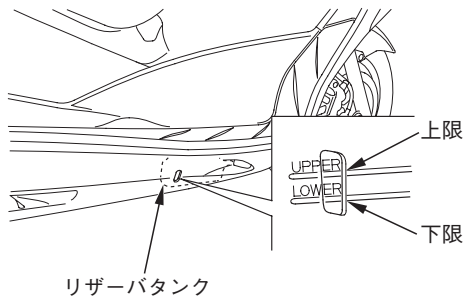
《冷却水量の点検》

1. 平坦地でメインスタンドを立てます。
2. 冷却水がリザーバタンクの上限と下限の間にあることを確認します。
水量が下限に近かったら、上限まで補給します。
冷却水の補給は、次ページを参照してください。

冷却水の減り具合が著しいときは、ラジエータ本体、キャップ、ホースなどからの水漏れが考えられます。

また、リザーバタンクに冷却水がない場合も異常です。

Honda販売店にご相談ください。



《冷却水の補給》

補給はリザーバタンクのキャップから行い、通常はラジエータキャップを外さないでください。



エンジンが熱いときにラジエータキャップを外すと、冷却水が噴き出し、重いヤケドを負います。

ラジエータキャップを外す前には、必ずエンジン、ラジエータが冷えていることを確認してください。



アドバイス

- 指定以外のラジエータ液や不適當な水を使うとサビなどの原因となります。

簡単なメンテナンス

冷却水指定液

Honda純正ウルトララジエータ液

指定液の濃度を上水道(軟水)で下記濃度に薄めてお使いください。

指定濃度:30%(寒冷地は50%)

濃度による不凍温度は、

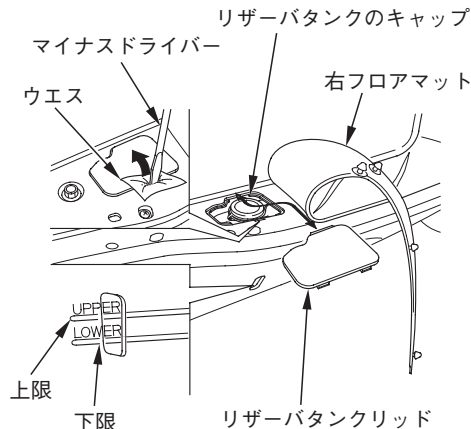
30%の場合 -16℃ まで

50%の場合 -37℃ まで

補給のしかた

1. 平坦地でメインスタンドを立てます。
2. 右フロアマットをめくります。
3. リザーバタンクリッドの溝に薄いウエスをあてたマイナスドライバーを差し込み、リッドを取外します。
4. リザーバタンクのキャップを外します。
5. リザーバタンクの上限まで冷却水を補給します。
6. キャップを取付け、リザーバタンクリッドを取付けます。

7. 右フロアマットを取付けます。



バッテリー

この車は、メンテナンスフリータイプのバッテリーを使用しています。バッテリー液の点検、補給は必要ありません。

バッテリーのターミナル部に汚れや腐食がある場合のみ清掃してください。

バッテリーの取扱い

- バッテリー取扱い時には、ショートによる火花やたばこ等の火気に十分注意してください。
- バッテリー液は、希硫酸ですので目や皮膚に付着しないよう十分注意してください。

アドバイス

- 密閉式バッテリーですので、液口キャップは絶対に取外さないでください。
バッテリーの充電時も液口キャップを取外す必要はありません。

警告

バッテリーには、希硫酸が電解液として含まれています。希硫酸は腐食性が強く、目や皮膚に付着すると重いヤケドを負います。

- バッテリーの近くで作業する時は、保護メガネと保護服を着用してください。
- バッテリーを、子供の手の届く所に置かないでください。

万一の場合の応急処置

- 電解液が目につ着したとき
ーコップなどに入れた水で、15分以上洗浄してください。加圧された水での洗浄は、目を痛めるおそれがあります。
- 電解液が皮膚につ着したとき
ー電解液のついた服を脱ぎ、皮膚を多量の水で洗浄してください。
- 電解液を飲み込んだとき
ー水、または牛乳を飲んでください。
応急処置後、直ちに医師の診察を受けてください。

簡単なメンテナンス

《バッテリーターミナル部の清掃》

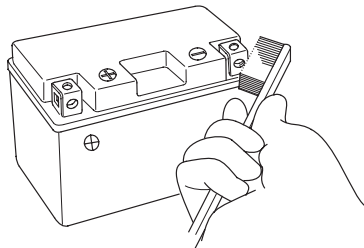
清掃のしかた

バッテリーを取外します。(次ページ参照)

- ターミナル部が腐食して白い粉が付いている場合は、ぬるま湯を注いで拭きます。
- ターミナル部の腐食が著しいものは、ワイヤブラシまたはサンドペーパーで磨きます。

清掃後、バッテリーを取付けます。

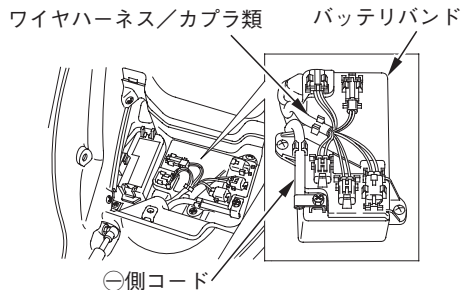
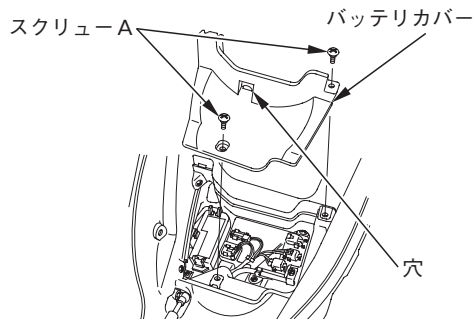
バッテリーを交換する場合は、必ず同型式のメンテナンスフリーバッテリーをご使用ください。



《バッテリーの取付け、取外し》

取外し

1. フロントシートを開け(76 ページ参照)、マットを取外します。
2. スクリューAを外し、バッテリーカバー後部の穴に指をかけて、バッテリーカバーを持ち上げて外します。
3. バッテリーバンドから⊖側コードとワイヤハーネス／カプラ類を外します。



簡単なメンテナンス

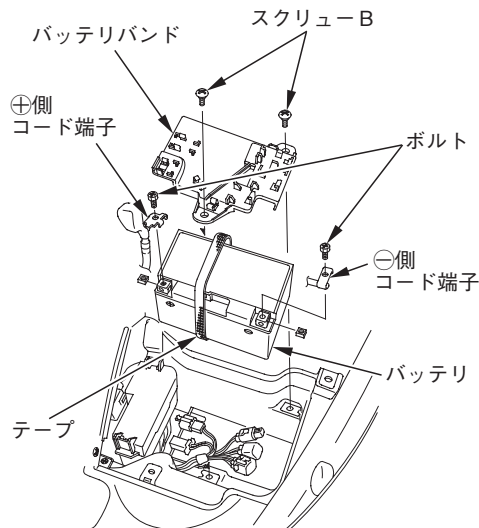
4. スクリューBを外し、バッテリーバンドを外します。
5. ⊖側コード端子のボルトを外し、⊖側コードを外します。
6. ⊕側コード端子のボルトを外して、⊕側コードを外します。
7. テープを持ち上げてバッテリーを引き出します。
8. 手で支えながらバッテリーを取出します。

取付け

- 取外しの逆手順でバッテリーを取付けます。

バッテリーコードは、必ず先に⊕側より取付けてください。

また、ターミナル部にゆるみが生じないように確実にボルト／ナットを締付けてください。



ヒューズ

《ヒューズの点検、交換》

メインスイッチを切り、ヒューズが切れていないことを確認します。

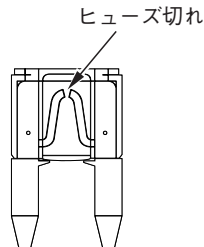
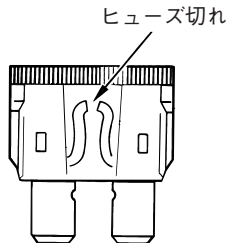
ヒューズが切れている場合は、指定されている容量のヒューズと交換します。

指定容量を超えるヒューズを使用すると、配線の過熱、焼損の原因になるので絶対に使用しないでください。

交換してもすぐにヒューズが切れる場合はヒューズの劣化以外の原因が考えられます。原因を調べて、直してから新品と交換しましょう。

🔧 アドバイス

- 電装品類(ライト、計器など)を取付けるときは車種毎に決められている「Honda アクセサリ」をご使用ください。それ以外のものを使用するとヒューズが切れたり、バッテリーあがりをおこすことがあります。



簡単なメンテナンス

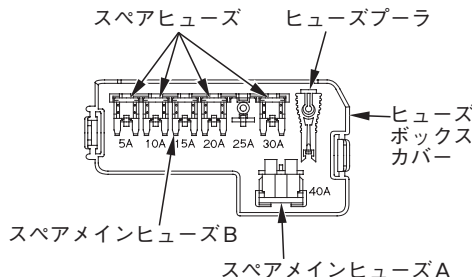
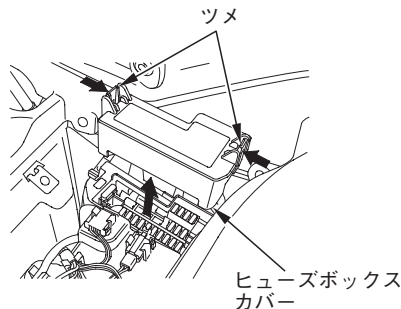
ヒューズボックス内のヒューズ

1. フロントシートを開け(76 ページ参照)、マットを取外します。
2. バッテリーカバーを外します。(161 ページ参照)
3. ツメを押してヒューズボックスカバーを取外します。

故障状況から、交換すべきヒューズをヒューズボックスカバーの表示に従い確認します。ヒューズの取外しはヒューズプーラで行います。

スペアヒューズは、ヒューズボックスカバー裏側にあります。

4. ヒューズボックスカバー、バッテリーカバー、マットを取付け、フロントシートを閉じます。

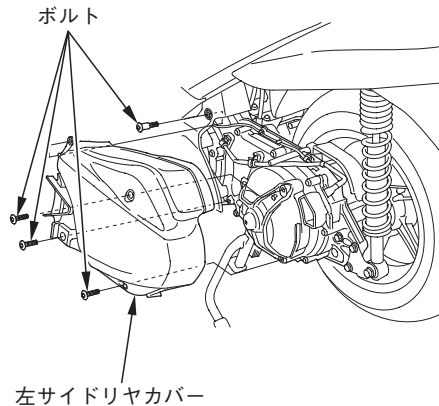


ファイナルギヤオイル

エンジン停止直後のメンテナンスは、エンジン本体、マフラやエキゾーストパイプなどが熱くなっています。ヤケドにご注意ください。

《オイル量の点検》

1. 平坦地でメインスタンドを立てます。
2. ボルト4本を外して、左サイドリヤカバーを外します。



簡単なメンテナンス

3. エンジン停止2～3分後に後側のオイルチェックボルトを外します。
4. ボルト穴からオイルが出てくることを確認します。

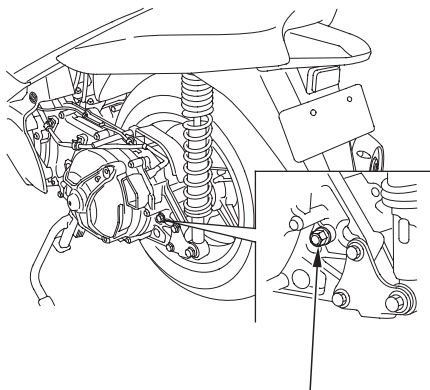
油面が低く、ボルト穴からオイルが出てこない場合は、オイルを補給してください。
オイルの補給は、Honda販売店にご相談ください。

5. オイルチェックボルトを確実に取付けます。



アドバイス

- オイルは規定量より多くても少なくても、悪影響を与えます。



オイルチェックボルト

6. 左サイドリヤカバーを取付けます。

推奨オイル

Honda純正オイル(4サイクル二輪車用)

	J A S O T 903規格	S A E 規格	A P I 分類
ウルトラ G 1	M A	10W-30	S L 級

相当品をご使用の場合、オイル容器の表示を確認し、次の範囲内でお選びください。

JASO T 903規格(二輪車用オイル規格):MA

SAE規格:10W-30

API分類:SG、SH、SJ、SL級相当



アドバイス

- 銘柄やグレードの異なるオイルを混用しないでください。また、低品質オイルや高品質オイルでもこの車に適合しないオイルは、使用しないでください。
オイルが変質したり、適合しないため、この車本来の性能が発揮できないばかりでなく、エンジンの故障や損傷の原因となります。

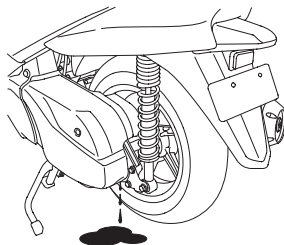
交換時期

初回5年目、以後4年ごと

ファイナルギヤオイルの交換は、Honda販売店にご相談ください。

《オイル漏れの点検》

ファイナルリダクションケースなどから、オイルが漏れていないことを確認します。



簡単なメンテナンス

エアクリーナ

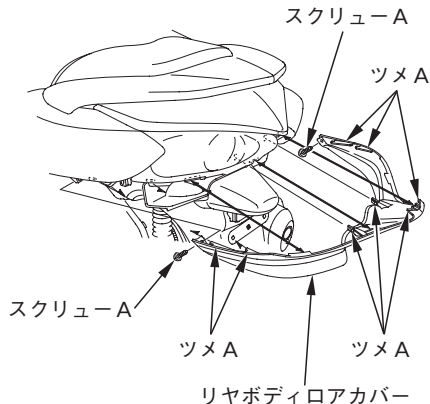
この車には、ろ紙にオイルを含ませたビスカス式のエアクリーナエレメントが装備されており、点検・清掃は不要です。

20,000 km ごとに交換してください。

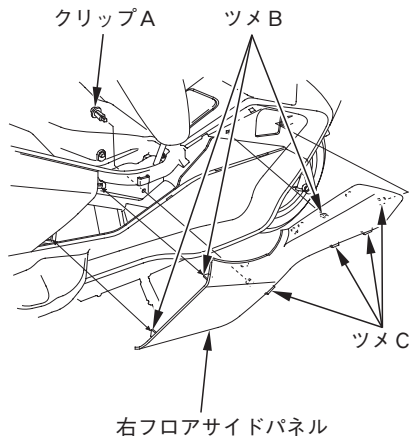
《エアクリーナエレメントの交換》

取外し

1. スクリューAを取外します。
2. リヤボディロアカバーを後方に引きながらツメAを外し、取外します。



3. フロントシートを開けます。(76 ページ参照)
4. クリップAを外し、右フロアサイドパネルを手前に引いてツメBを外します。(クリップの取外しかたは、172 ページ参照)
5. 右フロアサイドパネルを後方に引いてツメCを外し、右フロアサイドパネルを取外します。



6. 《FORZA X, FORZA Z, FORZA Z ABS》

クリップB、スクリューB、ボルトAを外し、右ボディカバーを軽く持ち上げて、取外します。

(クリップの取外しかたは、172 ページ参照)

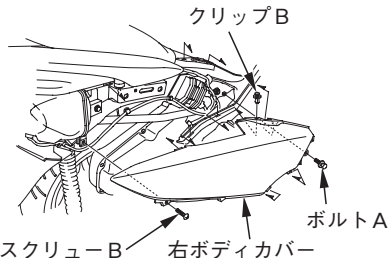
《FORZA X-Audio, FORZA Z-Audio, FORZA Z ABS-Audio》

ラジオアンテナを取外します。(109ページ参照)

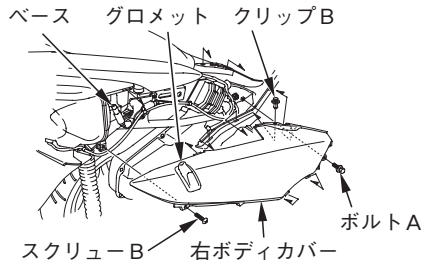
クリップB、スクリューB、ボルトAを外し、右ボディカバーを軽く持ち上げながらグロメットをベースから抜き、右ボディカバーを取外します。

(クリップの取外しかたは、172ページ参照)

〈FORZA X, FORZA Z, FORZA Z ABS〉



〈FORZA X-Audio, FORZA Z-Audio, FORZA Z ABS-Audio〉



7. スクリューC、エアクリーナカバーを取外します。
8. エアクリーナエレメントを取外します。
取外し後ケース内にゴミやほこり等がないことを確認し、ある場合は取除きます。
9. 新しいエアクリーナエレメントと交換します。

取付け

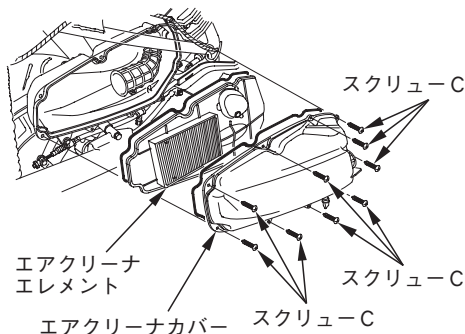
- 取付けは、取外しの逆手順で行います。
取付けの際、各ツメを各合わせ部に確実に合わせてください。

《FORZA X-Audio, FORZA Z-Audio, FORZA Z ABS-Audio》

- ベースの先端がグローメットの穴に正しく差し込まれているか確認してください。

アドバイス

- エアクリーナエレメントの取付けが不完全であると、ゴミやほこりを直接吸ってシリンダの摩耗や出力低下を起し、エンジンの耐久性に悪影響を与えます。確実に取付けてください。
- また、洗車時エアクリーナに水を入れないようご注意ください。エアクリーナ内部に水が入ると、始動不良等の原因になります。

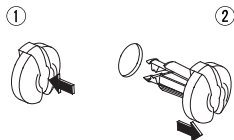


簡単なメンテナンス

《クリップの取外し、取付けかた》

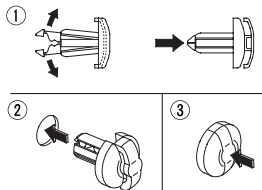
取外し

- ①中央部のピンを押し込んでロックを解除します。
- ②クリップを引き抜きます。



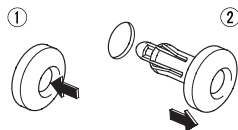
取付け

- ①ピンの先端を軽く開きながら、ピンを押し戻して取付け状態にします。
- ②クリップを穴に差し込みます。
- ③ピンを軽く押してロックします。



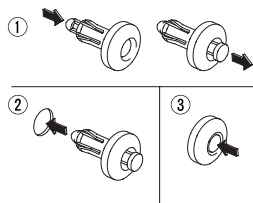
取外し

- ①中央部のピンを押し込んでロックを解除します。
- ②クリップを引き抜きます。



取付け

- ①ピンの下端を押し戻して取付け状態にします。
- ②クリップを穴に差し込みます。
- ③ピンを軽く押してロックします。

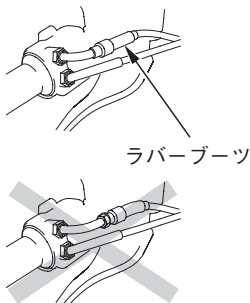


ケーブル・ワイヤ類

《ラバーブーツの点検》

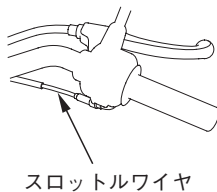
ケーブル類にはインナーケーブル保護のため、ラバーブーツが取付けられています。常に正しく取付けられているか点検してください。

洗車時には、ラバーブーツに直接水をかけたり、ブラシを当てたりしないでください。汚れのひどい場合は、固くしぼった布等で拭き取るようにしてください。



《ケーブル・ワイヤ類の点検》

スロットルグリップを作動させ、スムーズに動くか、作動が異状に重くないか、スロットルグリップから手を放したときにグリップがスムーズに戻るかを点検してください。また、ケーブル・ワイヤの外表部に損傷がないかを点検してください。異状を感じた場合はHonda販売店にご相談ください。



簡単なメンテナンス

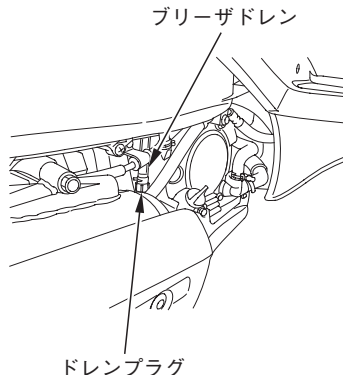
ブリーザドレン

エンジンの性能を維持するためには、定期的なブリーザドレンの清掃が必要です。

《ブリーザドレンの清掃》

(Honda指定1年点検整備項目)

1. ブリーザドレンの下に受け皿等を用意します。
2. ドレンプラグを外し、ブリーザドレン内の堆積物を取除きます。
3. ドレンプラグを確実に取付けます。



車のお手入れ

お車を定期的に清掃することは、品質や性能を維持するために大切な作業です。

普段見逃しがちな異常の発見にもつながります。

また、海水や路面凍結防止剤などに含まれる塩分は、車体のサビを促進します。

海岸付近や凍結防止剤を散布した路面を走行した後は必ず洗車してください。

《洗車のしかた》

1. 《FORZA Z ABS, FORZA Z ABS-Audio》

水を流しながら柔らかい布やスポンジで汚れを落としてください。

インナーカバーの汚れがひどいときは、乾いた柔らかい布で水分をふき取ってから、Honda純正ケミカル用品のプラスチッククリーナーとスクーターシャンプーもしくは相当品を使用してふき取ります。

シートの汚れがひどいときは、乾いた柔らかい布で水分をふき取ってから、Honda純正ケミカル用品のシートクリーナーもしくは相当

品を使用してふき取ります。

インナーカバーとシート以外で汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤を使用し、十分な水で洗剤を洗い流してください。

Honda純正ケミカル用品のお買い求めはHonda販売店へご相談ください。

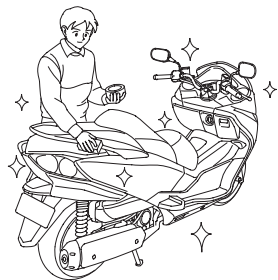
《FORZA X, FORZA Z, FORZA X-Audio, FORZA Z-Audio》

水を流しながら柔らかい布やスポンジで汚れを落としてください。

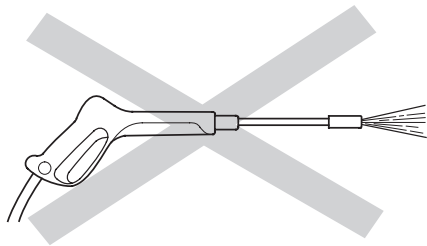
汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤を使用し、十分な水で洗剤を洗い流してください。

車のお手入れ

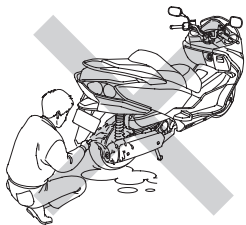
2. 柔らかい布で拭きあげてください。車体を乾燥させた後、ブレーキレバーやスタンドの取付け部へ注油し、その後、車体の腐食を防ぐため、ワックスがけを行ってください。



- 洗車は、エンジンが冷えているときに行ってください。
- 高圧洗車機などのような車体に高い水圧がかかる洗車は避けてください。
特に可動部や電装部品等にかかると、作動不良や故障の原因となることがあります。



- 洗車時、マフラに水を入れないでください。マフラ内部に水がたまると始動不良やサビの発生などの原因になることがあります。



- 洗車時、ブレーキの制動部分に水をかけないようにしてください。水がかかるとブレーキの効き具合が悪くなる場合があります。洗車後は、安全な場所で周囲の交通事情に十分注意し、低速で走行しながらブレーキを軽く作動させて、ブレーキの効き具合を確認してください。もし、ブレーキの効きが悪いときは、ブレーキを軽く作動させながらしばらく低速で走行して、ブレーキのしめりを乾かしてください。

- 洗車時、シート下方から強く水をかけないでください。内部に水が入り書類等がぬれることがあります。
- 洗車直後などにヘッドライト内部がくもることがあります。この場合、ヘッドライトを点灯することでくもりは徐々に消えていきます。ヘッドライトの点灯は、エンジンをかけながら行ってください。
- ワックスやケミカル類を使用するときは、ボディが目立たないところでくもりやキズ、色むら等が生じないか確認してからご使用ください。また、ワックス等で強く磨くと塗膜が薄くなったり、色むらが生じますのでご注意ください。
- ブレーキディスクやパッドにワックス、オイル等の油脂類が付着しないよう注意してください。ブレーキが効かなくなり、事故の原因になる場合があります。

車のお手入れ

メーターバイザーの取扱い

メーターバイザーの取扱いには次の注意事項をお守りください。

- メーターバイザーを清掃するときは、傷がつきやすいので多量の水を使って、やわらかい布かスポンジで汚れを落としてください。
汚れのひどい時は、スポンジに薄めた中性洗剤を含ませ汚れを落とし、さらに十分な水で洗剤を洗い流してください。
(洗剤成分が残っていると、メーターバイザーに亀裂が発生する場合があります。)
- ガソリン、ブレーキ液または洗浄液等の化学物質がメータ、メーターバイザー、フェアリング、サイドカバー等の樹脂部品およびヘッドライトにかかると、亀裂などが発生しますので、絶対にかからないようにしてください。
- メーターバイザーに貼付されているコーションラベルは、はがさないでください。

アルミ 部品の取扱い

アルミ部品は、塩分などの汚れを嫌います。また、他の金属部品と異なり、傷がつきやすくなっています。取扱いについては必ず次のことをお守りください。

《アルミホイール》

- 砂入り石鹸や硬いブラシは、傷をつけますので使用しないでください。
- 縁石への乗り上げやすり当てはさけてください。

シートの取扱い

シートをきれいな状態でご使用いただくため次のことをお守りください。

- 汚れを落とす場合は、中性洗剤を使ってやわらかい布かスポンジで汚れを洗い落としてください。
洗浄後は十分に水洗いして乾いた布で水分をふき取ってください。

つや消し塗装の取扱い

つや消し塗装部品は、一般的な塗装と取扱いが異なります。

つや消し塗装を維持するため必ず次のことをお守りください。

《お手入れ》

- 汚れを落とす場合は、中性洗剤を使ってやわらかい布かスポンジで汚れを洗い落としてください。
洗浄後は十分に水洗いして乾いた布で水分をふき取ってください。

《取扱い》

- 塗装面にコンパウンドやコンパウンド入りワックスを使用すると、つや消し感が無くなったり、色むらが生じるおそれがありますので、使用しないでください。
- ご不明な点がございましたら、Honda販売店にご相談ください。

エキゾーストパイプの取扱い

エンジン停止直後は、エンジン本体、エキゾーストパイプ、マフラなどが熱くなっています。ヤケドにご注意ください。

エキゾーストパイプはステンレス鋼を使用していますので、油脂等の汚れが付着したままで、エンジンを始動すると焼けムラが起ります。

《お手入れ》

- 汚れが付着した場合は、ステンレス用台所洗剤を使って、やわらかい布かスポンジで汚れを洗い落としてください。洗浄後は、十分に水洗いして乾いた布で水分をふき取ってください。
- 焼けムラをとる場合は、市販の細目のコンパウンドで磨いた後、汚れが付着した場合と同じ要領で汚れを洗い落としてください。

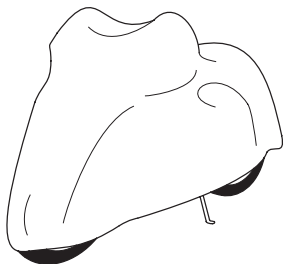
車のお手入れ

保管のしかた

お車はできるだけご自宅の敷地内に保管し、屋外に保管する場合はボディカバーをかけてください。

知 識

- ボディカバーはエンジンやマフラが冷えてからかけてください。



長期間、ご使用にならない場合は次の項目をお守りください。

- 大事なお車をサビから守るために、保管する前にワックスがけを行ってください。また、雨上がりには一度ボディカバーを外し、車体を乾燥させてください。
- バッテリーは自己放電と電気漏れを少なくするため車から取外し、完全充電して風通しのよい暗い場所に保存してください。もし車に積んだまま保存する場合は、⊖側ターミナルを外してください。

地球環境の保護について

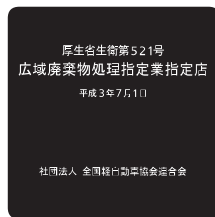
お車および部品等の廃棄をするとき

地球環境を守るため、使用済みのバッテリーやタイヤ、エンジンオイルの廃油等はむやみに捨てないでください。これらのものを廃棄する場合は、Honda販売店にご相談ください。

また、将来お車を廃車する場合も同様です。お車の廃棄を希望するときはお近くの廃棄二輪車取扱店へご相談ください。

《廃棄二輪車取扱店》

廃棄二輪車取扱店とは(社)全国軽自動車協会連合会の加盟販売店で廃棄二輪車取扱店として登録されている廃棄二輪車を適正処理するための窓口です。廃棄二輪車取扱店には「廃棄二輪車取扱店の証」が掲示されています。



廃棄二輪車取扱店の証

地球環境の保護について

《二輪車リサイクルマーク／リサイクル料金》

この車には、二輪車リサイクルマークが車体に貼付されています。

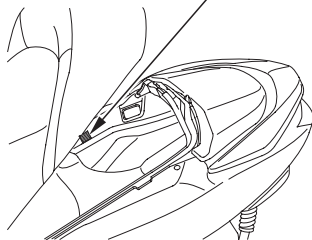
マークが車体に貼付されている二輪車は、再資源化するためのリサイクル費用がメーカー希望小売価格に含まれていますので、二輪車を廃棄する際は、再資源化に必要なリサイクル料金はいただきません。

ただし、お車をお客様から廃棄二輪車取扱店および指定引取場所までの収集・運搬料金はおお客様のご負担となります。収集・運搬料金については廃棄二輪車取扱店にご相談ください。

二輪車リサイクルマークは、ラゲージボックス内に貼付しています。



二輪車リサイクルマーク



《二輪車リサイクルマークの取扱い》

お車を廃棄する際、二輪車リサイクルマークが必要となります。

マークは車体から、剥がさないでください。

マークの紛失、破損による再発行および販売の取扱いはありません。

リサイクルマークの剥がれ等により、リサイクルマーク付対象車かどうか不明の場合は、下記の(財)自動車リサイクル促進センターホームページおよび二輪車リサイクルコールセンターにてご確認ください。

廃棄二輪車のお取扱いに関しては、最寄の廃棄二輪車取扱店または下記二輪車リサイクルコールセンターまでお問い合わせください。

(財)自動車リサイクル促進センターホームページ

<http://www.jarc.or.jp/>

二輪車リサイクルコールセンター

電話番号 03-3598-8075

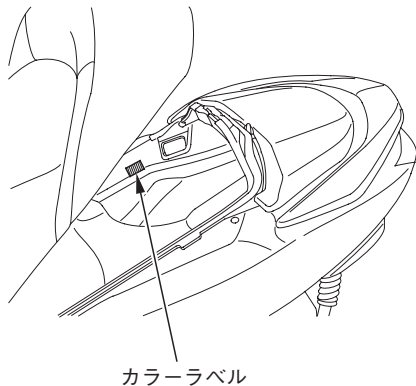
受付時間 9:30~17:00

(土日祝日、年末年始等を除く)

色物部品をご注文のとき

色物部品をご注文のときは、カラーラベルに記載されているモデル名、カラーおよびコードをお知らせください。

カラーラベルは、ラゲージボックス内に貼ってあります。



マフラの純正マークについて

マフラの後部には、Honda純正部品を表す
“H O N D A”マークが刻印されています。

“H O N D A”マーク

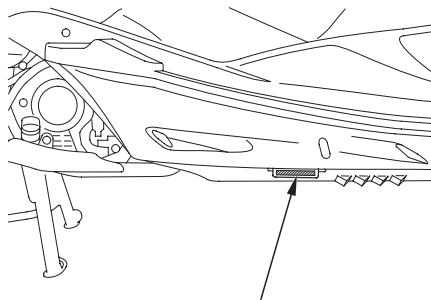


HONDA

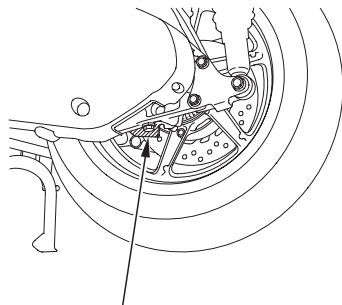
フレーム号機

フレーム号機は、部品を注文するときや、車の登録に関する手続に必要です。

また、フレーム号機は、お車が盗難にあった場合に、車を捜す手掛りにもなります。ナンバープレートの登録番号と共に別紙に記録し、車と別に保管することをおすすめします。



フレーム号機打刻位置



エンジン号機打刻位置

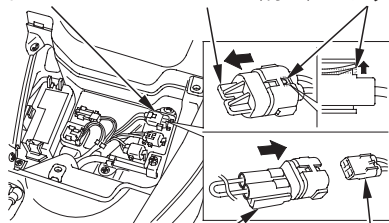
緊急時のメインスイッチノブの解錠

緊急時のメインスイッチノブの解錠

《準備》

1. メカニカルキーでフロントシートを開け（90 ページ参照）、マットを除外します。
2. バッテリーカバーを除外します。（161 ページ参照）
3. コネクターを引き出して、フックを持ち上げながらツメを外し、ダミーカプラーを除外します。
4. 携帯工具の中にあるEMカプラーをコネクターに繋ぎます。

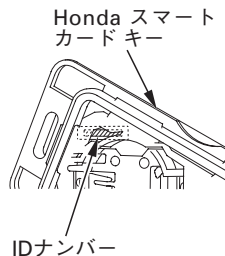
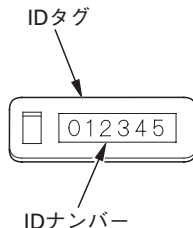
コネクター ダミーカプラー（青色） フック



EM カプラー（青色） コネクター

5. IDタグまたはカードキー本体側に記入されているIDナンバーを確認してください。

カードキー本体側のIDナンバーを確認するときは、40 ページを参照してください。



緊急時のメインスイッチノブの解錠

《入力》

ここでは、IDナンバーが【012345】の場合を例にあげて説明をしていきます。

基本操作は、入力したいIDナンバーの数だけシートオープナーを押してからメインスイッチノブを1回押して確定します。

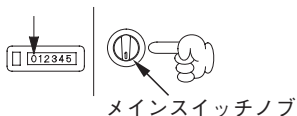
1. メインスイッチノブを1回押すと、メインスイッチ照明が青色に点灯し、IDナンバー入力モードに入ります。この状態でIDナンバーを入力します。

メインスイッチ照明が青色に点灯しない場合、バッテリーがあがっているおそれがあります。

Honda販売店にご相談ください。

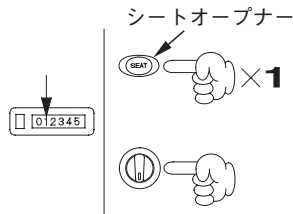
2. シートオープナーを押さずにメインスイッチノブを1回押します。

この動作がIDナンバーの“0”を表します。



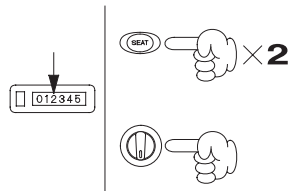
3. シートオープナーを1回押して、ノブを1回押します。

この動作がIDナンバーの“1”を表します。



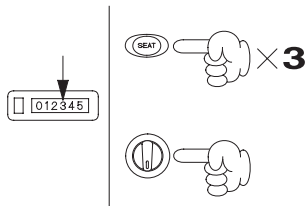
4. シートオープナーを2回押して、ノブを1回押します。

この動作がIDナンバーの“2”を表します。



5. シートオープナーを3回押して、ノブを1回押します。

この動作がIDナンバーの“3”を表します。



6. 以上の手順ですべてのIDナンバーを入力していきます。

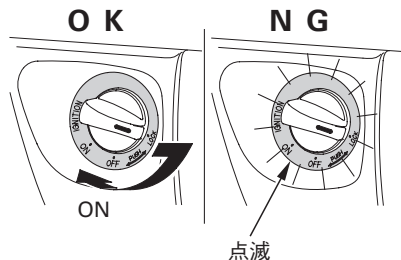
照合が合うと解錠してメインスイッチノブの操作が可能になりますのでエンジンを始動させてください。

但し、IDナンバー入力モードにて解錠した場合、一度しかメインスイッチノブを回すことができません。

7. 解錠後は必ずEMカプラーを外し、ダミーカプラーに戻してください。

照合が合わないときメインスイッチ照明が青色に点滅して解錠できません。

EMカプラーを一度抜いて再度コネクタに繋いでからやり直してください。



知識

- IDナンバー入力モードで解錠するとき以外は、EMカプラーを繋がないでください。
- 緊急時に備えて、外したEMカプラーは携帯工具の中に保管してください。

オーバーヒートしたとき

《オーバーヒートの処置手順》

1. メインスイッチノブでエンジンを止め、再度メインスイッチノブを“ON”にします。
このとき、ラジエータの冷却ファンが作動するか、作動音で確認します。確認後、メインスイッチノブを“OFF”にします。
 - 冷却ファンが作動しない場合：
故障が考えられますので、エンジンをかけず、Honda販売店にご相談ください。
 - 冷却ファンが作動する場合：
メインスイッチノブが“OFF”の状態、エンジンが冷えるのを待ちます。
2. エンジンが冷えてから、リザーバタンクの冷却水量を確認します。(156 ページ参照)
 - 冷却水が不足していたら、リザーバタンクに補給してください。(158 ページ参照)

3. ラジエータホースなどを点検し、水漏れがないか確認します。
 - 水漏れがある場合：
エンジンをかけず、Honda販売店にご相談ください。
 - 水漏れがない場合：
走行可能です。ただし、異常が再発するときは、Honda販売店にご相談ください。
4. 異常が再発しない場合でも、なるべく早くHonda販売店で点検を受けてください。

エンジンが始動しないとき

始動しないまたは動かなくなったときは、次の点を調べてください。

- エンジンのかけかたは取扱説明書通りですか。
- 燃料タンクにガソリンはありますか。
- PGM-FI警告灯は点灯していませんか。
点灯している場合は、ただちにHonda販売店にご相談ください。
- Hondaスマート カード キー表示灯は点灯していませんか。
点灯している場合は、メインスイッチノブを“OFF”にし、再び“ON”に入れ直してください。
それでも表示灯が点灯している場合は、36 - 37 ページを確認してください。

これらに該当しない場合は、次のことを行ってください。

1. メインスタンドを立てます。
2. パーキングブレーキグリップを手前に引き、後輪をロックします。(80 ページ参照)
3. エンジンストップスイッチが“ ○ ”(RUN) になっていることを確認します。

4. メインスイッチノブを“ON”にします。
5. 左ブレーキレバーを強く握り、スロットルグリップを全開にし、スタータスイッチを5秒間押します。
6. 次に118ページの始動要領でエンジンをかけてください。
7. エンジンがかからないときは、一度メインスイッチノブを“OFF”に戻して10秒以上待ってから、1 から 6 までの手順を繰り返してください。

以上の手順を行ってもエンジンがかからない場合には、お近くのHonda販売店にご相談ください。

故障の修理

- お近くのHonda販売店にお申しつけください。
- むやみに修理しないで、早くHonda販売店で点検整備を受けることが、お車を長持ちさせる秘けつです。

主要諸元《FORZA Z, FORZA Z ABS, FORZA Z-Audio, FORZA Z ABS-Audio》

型	式	JBK-MF10
長	さ	2,185 mm
幅		750 mm
高	さ	1,180 mm
軸	距	1,545 mm
原 動 機 種 類 / 総 排 気 量		ガソリン・4 サイクル / 0.248 ℓ
車 両 重 量		201 kg ^{*1} , 204 kg ^{*2} , 207 kg ^{*3}
乗 車 定 員		2 人
タイヤサイズ	前 輪	110/90-13M/C 55P
	後 輪	140/70-13M/C 61P
最 低 地 上 高		135 mm
燃 料 消 費 率 ※		43.0 km/ℓ (車速60 km/h定地走行テスト値)
最 小 回 転 半 径		2.6 m
圧 縮 比		10.2
最 高 出 力		16 kW (22 PS) / 7,500 rpm
最 大 ト ル ク		22 N·m (2.2 kg·m) / 6,000 rpm
燃 料 タ ン ク 量		12 ℓ

※燃料消費率は定められた試験条件のもとでの値です。したがって、走行時の気象、道路、車両、整備などの諸条件により異なります。

* 1 :FORZA Z の数値です。

* 2 :FORZA Z ABS, FORZA Z-Audio の数値です。

* 3 :FORZA Z ABS-Audio の数値です。

点 火 形 式	フル・トランジスタ式 バッテリ点火
点 火 時 期	BTDC10°/1,500 rpm
アイドリング回転数	1,500 rpm
点火プラグ	N G K
蓄電池（バッテリー）	12 V - 10 Ah または 12 V - 11 Ah
機関から変速機までの減速比	1.000
クラッチ形式	乾式多板シュー式
変速機形式	ベルト式
変速機操作方式	電子式
第一減速比	2.444
第二減速比	3.083

主要諸元《FORZA X, FORZA X-Audio》

型	式	JBK-MF10
長	さ	2,185 mm
幅		750 mm
高	さ	1,180 mm
軸	距	1,545 mm
原 動 機 種 類 / 総 排 気 量		ガソリン・4 サイクル / 0.248 ℓ
車 両 重 量		196 kg 《199 kg》
乗 車 定 員		2 人
タイヤサイズ	前 輪	110/90-13M/C 55P
	後 輪	140/70-13M/C 61P
最 低 地 上 高		135 mm
燃 料 消 費 率 ※		41.0 km/ℓ (車速60 km/h定地走行テスト値)
最 小 回 転 半 径		2.6 m
圧 縮 比		10.2
最 高 出 力		16 kW (22 PS) / 7,500 rpm
最 大 ト ル ク		22 N·m (2.2 kg·m) / 6,000 rpm
燃 料 タ ン ク 量		12 ℓ

※燃料消費率は定められた試験条件のもとでの値です。したがって、走行時の気象、道路、車両、整備などの諸条件により異なります。

《 》:FORZA X-Audio の数値です。

点 火 形 式	フル・トランジスタ式 バッテリ点火
点 火 時 期	BTDC10°/1,500 rpm
アイドリング回転数	1,500 rpm
点火プラグ	N G K
蓄電池（バッテリー）	12 V - 10 Ah または 12 V - 11 Ah
機関から変速機までの減速比	1.000
クラッチ形式	乾式多板シュー式
変速機形式	ベルト式
変速機操作方式	自動遠心式
第一減速比	2.444
第二減速比	3.083

サービスデータ

タイヤ空気圧	1 人乗車時	前輪	175 kPa (1.75 kgf/cm ²)
		後輪	200 kPa (2.00 kgf/cm ²)
	2 人乗車時	前輪	175 kPa (1.75 kgf/cm ²)
		後輪	225 kPa (2.25 kgf/cm ²)
エンジンオイルの量	全 容 量		1.7 ℓ
	オイルフィルタ 交換時		1.4 ℓ
	オイル交換時		1.3 ℓ
ヒューズ	メインヒューズ A, B		40 A, 15 A
	ヒューズ		30 A, 20 A, 15 A, 10 A, 5A
点火プラグの点火すきま			0.8－0.9 mm
エアクリーナエレメント	形 式		ろ紙式(ビスカスタイプ)
電球 (バルブ)	ヘッドライト		12 V－55/60 W ×2
	ストップ・テールランプ		12 V－21/5 W ×2
	フロントウインカランプ		12 V－21/5 W ×2
	リヤウインカランプ		12 V－21 W ×2
	ライセンスランプ		12 V－5W

お車についてのお問い合わせ、ご相談は、まず、Honda販売店にお気軽にご相談ください。

販売店

TEL

お問い合わせ、ご相談は、本田技研工業株式会社 お客様相談センターでもお受け致します。

全国共通フリーダイヤル オ-ハローバイク 0120-086819 受付時間 9:00~12:00 13:00~17:00

〒351-0188 埼玉県和光市本町 8-1

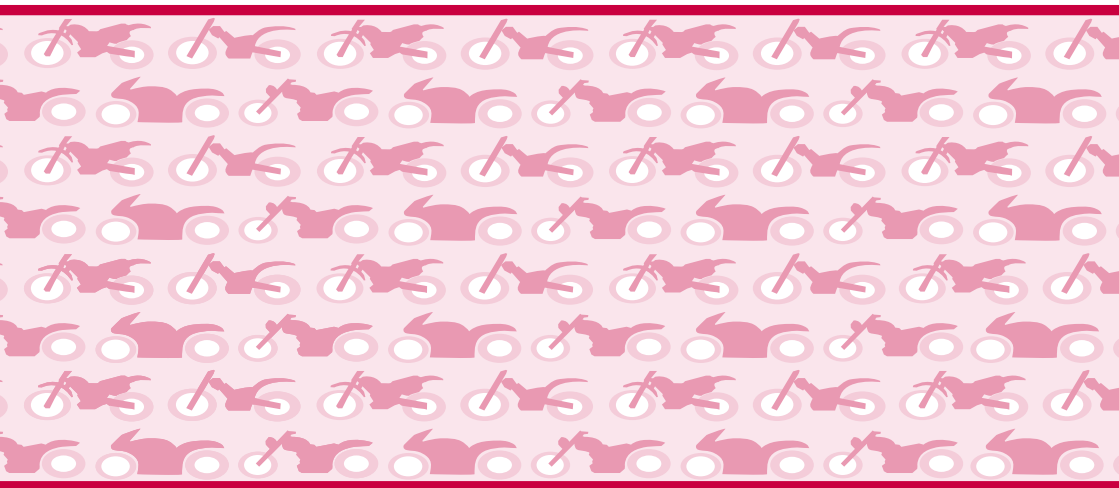
所在地、電話番号が変更になることがありますのでご了承ください。

お車に関してお問い合わせいただく際は、お客様へ正確、敏速にご対応させていただくために、あらかじめ、お手元にお車の車検証や届出済証などの登録書類をご準備いただき、下記の事項をご確認のうえ、ご相談ください。

- ①車両型式、車台番号、エンジン型式、登録番号、登録年月日
- ②車種名、タイプ名、走行距離
- ③ご購入年月日
- ④販売店名

HONDA

The Power of Dreams



30KVZ601
00X30-KVZ-6012

① (HC) 3000. 2009. XX. 8
© 2008 本田技研工業株式会社